

 **NOW**ing SERVER

かんたんセットアップマニュアル

ナウイングサーバーをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に本書を必ずお読み下さい。



Windows Server 2016 Essentials 搭載

目次

本製品をお買い上げのお客様へ

- 1.安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 03
- 2.パッケージ同梱品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 04
- 3.各部の機能と名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 05

セットアップマニュアル

- 1.はじめに実施すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 06
- 2.Windows Server 2016 Essentialsのセットアップ・・・・・・ 12
 - 2-1. サーバーのバックアップ
 - 2-2. 更新プログラムの入手
 - 2-3. ユーザーアカウントの追加
 - 2-4. サーバーフォルダーの追加
 - 2-5. Windows Defenderのセットアップ
 - 2-6. クライアント復元サービスのセットアップ
 - 2-7. コンピューター回復キーの作成
 - 2-8. クライアントのセットアップ
 - 2-8-1. コンピューターに接続する
 - 2-8-2. クライアントの復元用ドライバーの取得
- 3.問題が発生した場合のリストア手順・・・・・・・・・・・・ 56
 - 3-1. サーバーのリストア(復元)手順
 - 3-2. クライアントのリストア(復元)手順
- 4.Anywhere Accessのセットアップ・・・・・・・・・・・・ 74

必ずお読み下さい

- NOWing SERVER
- 先出しセンドバック保守(標準・オプション)サービス利用規約・・・ 84
- NOWing SERVER
- オンサイト保守(オプション)サービス利用規約・・・・・・・・・・・・ 86

本製品をお買い上げのお客様へ

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みの上、正しくお使いください。

1.安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。またお読みになった後は、大切に保管してください。こちらに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

警告 これらの事項は禁止事項です。死亡または重傷を負う可能性があります。

- | | |
|---|---|
|  ■海外では使用しない
本製品は日本国内専用です。電圧が異なるなど、発火・発煙のリスクがあるほか、法令上要求される仕様が異なる可能性があります。また、製品保証対象外となり、修理などのサービスもご提供できません。 |  ■壁面に密着させない
通風孔の風量を確保およびケーブルの過度の折れ曲がりを防ぐため、本体背面は壁面から最低10cm以上離して利用ください。 |
|  ■ほこりが溜まった状態で使用しない
火災の原因となります。 |  ■湿気のある場所やほこりの多い場所では使わない
漏電やショートなどによる発熱・発煙・発火の恐れがあります。 |
|  ■不安定な場所に置かない
本製品は重量があり、倒れたり落下することによる本体の破損のほか、けがにつながる恐れがあります。 |  ■ケーブル類に物理的な損傷を与えない
動作不良を引き起こすことがあります。電源ケーブルの場合は火災・やけど・感電の恐れがありますので特にご注意下さい。 |
|  ■電源ケーブルを折り曲げるなどして束ねた状態で使用しない
火災の原因になります。 |  ■破損したケーブルは使用を続けない
火災の原因になります。 |
|  ■定格100V(50Hz/60Hz) 以外のコンセントに接続しない
発火・発煙の恐れがあります。 |  ■雷が鳴り出したらただちに使用を中止し、手を触れない
火災、やけど、けが、感電の原因となります。 |
|  ■たこ足配線しない
内部が過熱し、性能の低下・異音、さらには発煙・発火に至る恐れがあります。 |  ■製品同梱の電源ケーブル・AC アダプター以外を使用しない
内部が過熱し、性能の低下・異音、さらには発煙・発火に至る恐れがあります。 |
|  ■液体や異物を内部に入れない
火災、やけど、けが、感電の原因となります。 |  ■ディスプレイに何も表示されないなど、故障状態で使用しない
そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。 |
|  ■改造、分解をしない
火災、やけど、けが、感電の原因となります。 |  ■火気・暖房器具・熱器具に近づけたり加熱や端子をショートさせたりしない
火災、やけど、けが、感電の原因となります。 |
|  ■電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って抜く
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。 |  ■アース接続が必要な装置は、電源を入れる前に、必ずアース接続をする
万一漏電した場合、火災・感電の原因となります。 |
|  ■移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源ケーブルなども外す
発火・発煙の恐れがあります。 |  ■万一、異常が発生した場合は、ただちに本製品の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く
お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。火災・感電の原因となります。 |

注意 使用に関する全般的な注意事項障害、けが、物的損害の発生が想定されます。

- | | |
|--|--|
|  ■本製品の上に重い物を置かない
バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。また、本製品が故障したり誤動作したりする場合があります。 |  ■通気孔をふさがない
内部が過熱し、性能の低下・異音、さらには発煙・発火に至る恐れがあります。 |
|  ■濡れた手で触らない
動作不良を引き起こすことがあります。電源ケーブルの場合は火災・やけど・感電の恐れがありますので特にご注意下さい。 |  ■使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様の手の届く所におかない
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。 |
|  ■周囲温度が10 ～ 35℃の環境を守る
温度条件が守られないと、電子部品の誤動作や故障、寿命の短縮の原因となります。直射日光の当たるところにはおかないでください |  ■電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む
火災・故障の原因となります。 |
|  ■電池を取り付ける場合、極性のプラス(+)とマイナス(-)の向きに注意する
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。 | |

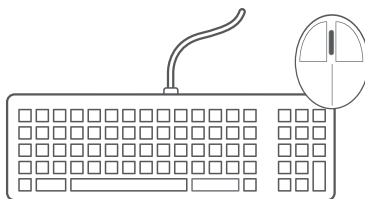
2.パッケージ同梱品

本製品には、次のものが含まれています。パッケージの内容を確認してください。

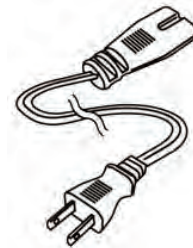
☐ NOWing SERVER 本体



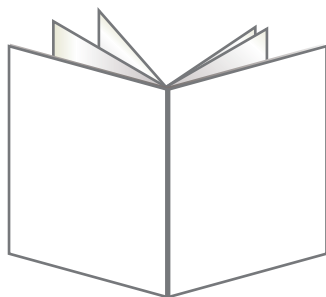
☐ キーボード&マウス



☐ 電源ケーブル



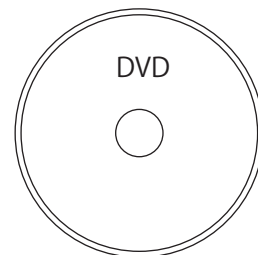
☐ 取扱説明書ダウンロード手順書



☐ 保証書

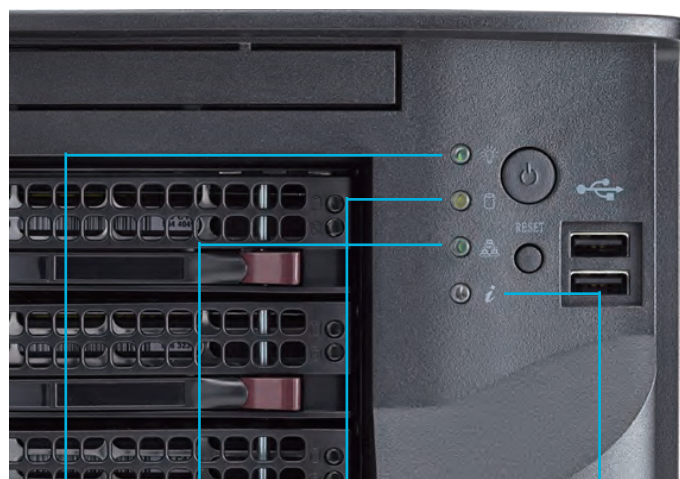


☐ Windows Server 2016 Essentials(DVD)



万が一、不足しているものや破損しているものがある場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

3.各部の機能と名称



電源ランプ

- ・点灯→POWER ON
- ・消灯→POWER OFF

HDDアクセスランプ

- ・点灯→HDDアクセス時
- ・消灯→HDDアクセス無し

ネットワークアクセスランプ

- ・点灯→NIC1で通信
- ・消灯→NIC1で通信無し

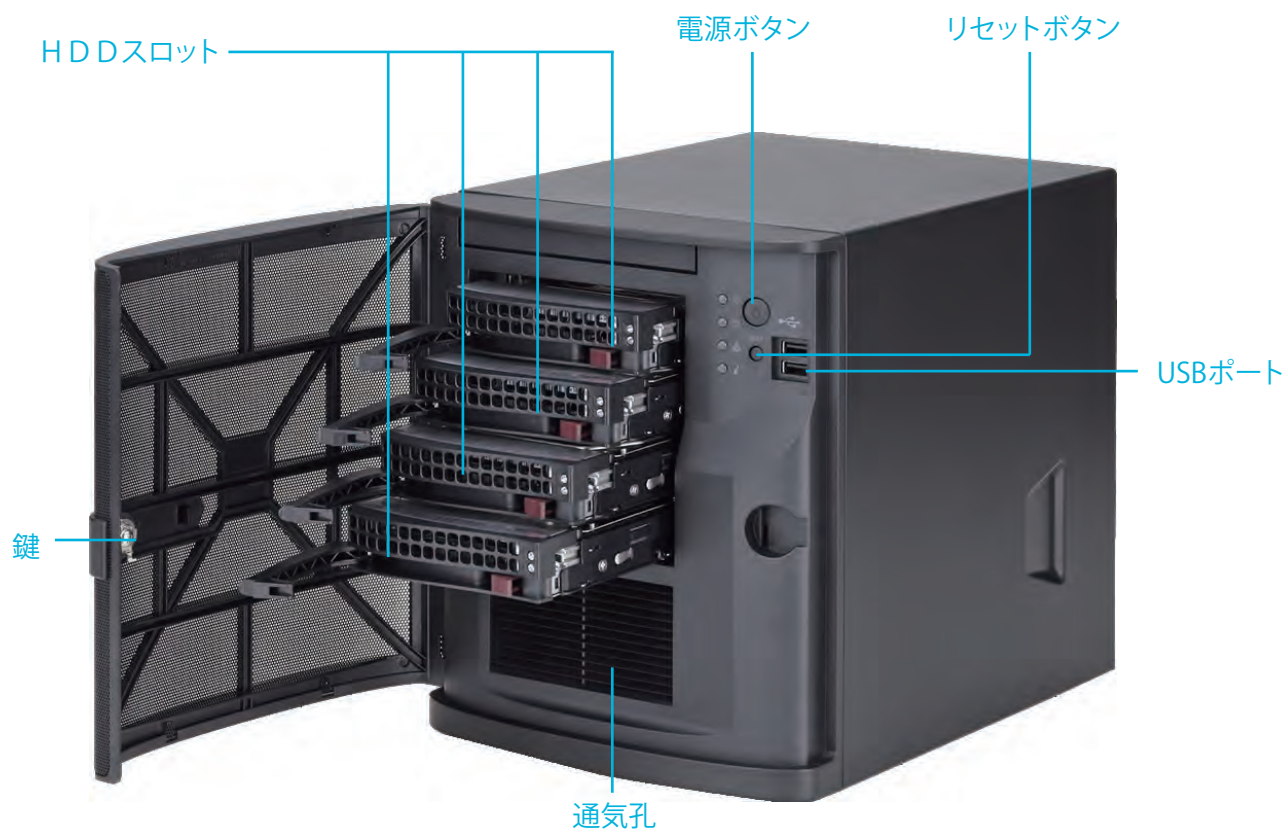
警告ランプ

- ・点灯/点滅(赤)→ハードウェア異常時
- ・消灯→異常無し

電源コネクタ



※マネジメントポート、COMポートサポート対象外です



HDDスロット

電源ボタン

リセットボタン

USBポート

鍵

通気孔

1. はじめに実施すること

本章では、NOWing Server for SMB G6 における初回起動時に行う必要のある設定方法について説明します。

本設定を実施することで、本装置におけるサーバーの構成を完了させ使用可能な状態にすることができます。

本章で実施された設定は、サーバーの構成の完了後に変更することはできませんのでご注意ください。

1. はじめに実施すること

1. ネットワークケーブルを 本体に接続

本体右上の[電源ボタン]を押します。
本体の電源が入り、OS初期セットアップ画面が表示されますので設定を行います。

(初期セットアップには、30-60分程度かかります。)



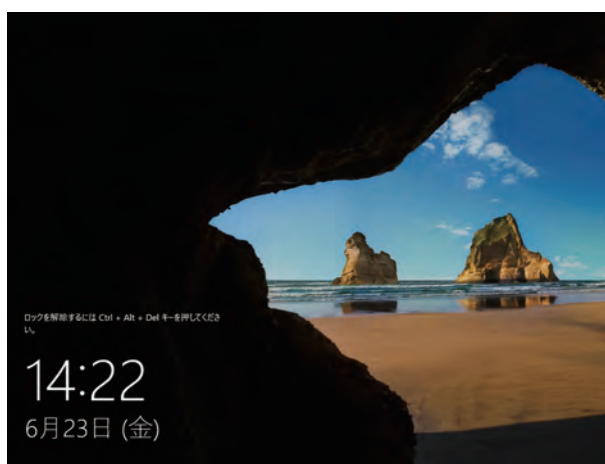
2. Windowsロゴ画面が表示

OSが起動するとWindowsロゴ画面が表示されますのでそのままお待ちください。



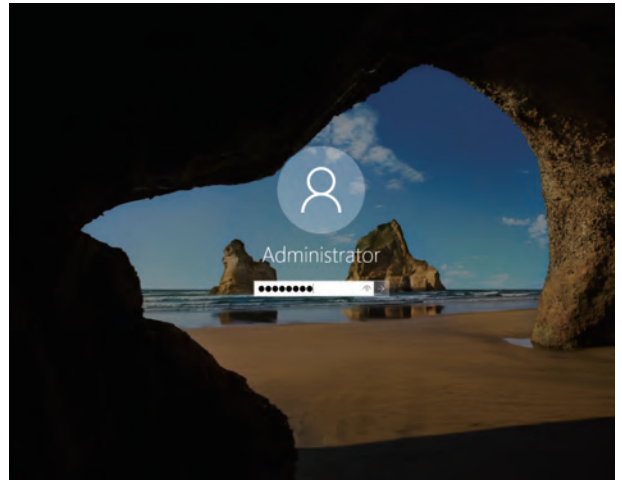
3. Ctrl+Alt+Delキーを 同時に押す

Ctrl+Alt+Del キーを同時に押してください。



4. 工場出荷時のパスワードを入力

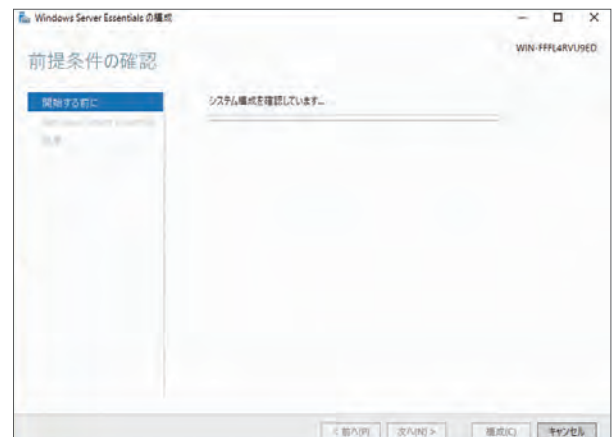
工場出荷時のパスワードを入力します。



5. 設定を行う為の前提条件を自動で確認開始

ログイン後は、60秒後に設定を行う為の前提条件を自動で確認を開始します。

こちらの画面がしばらく表示されますので次の指示が表示されるまでお待ちください。



6. セットアップを続行するかどうか確認

セットアップを続行するかどうか確認する画面が表示されます。

[次へ]をクリックします。



7. 日付と時刻の設定

日付と時刻の設定の確認画面が表示されますので、日付と時刻が正しいかを確認し、[次へ]をクリックします。



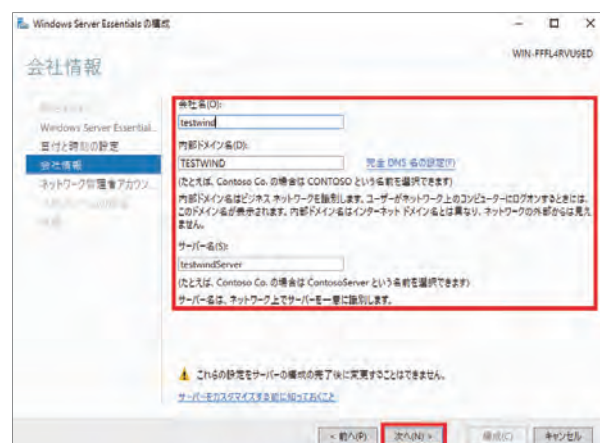
8-1. 会社情報を入力

「会社情報」を入力する画面が表示されますので、会社名、内部ドメイン名及びサーバー名を入力し、[次へ]をクリックします。

※会社名……………御社名をご入力ください

※内部ドメイン名…今後クライアント設定にも使用しますので、会社名等を使用されることをお勧めします。半角英数字大文字小文字を使用してください。

※サーバー名……………現在設定しているサーバーの名前です。初期ではランダムに入力されていますので、わかりやすいものに変更してください。



※入力したものを下記にお控えください。サポートの際などに必要になります。

会社名:

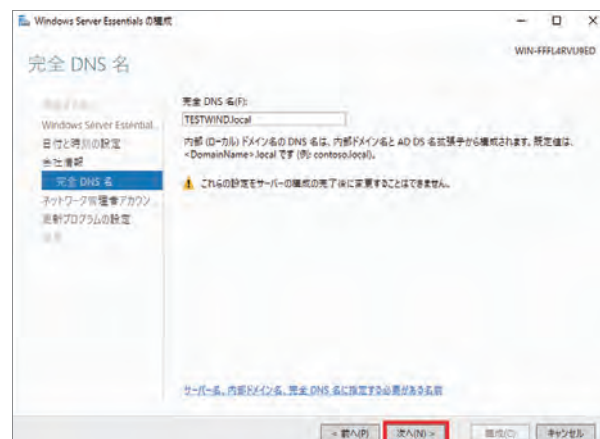
内部ドメイン名:

サーバー名:

内部ドメイン名、サーバー名は一度設定すると変更できません。ご注意ください。

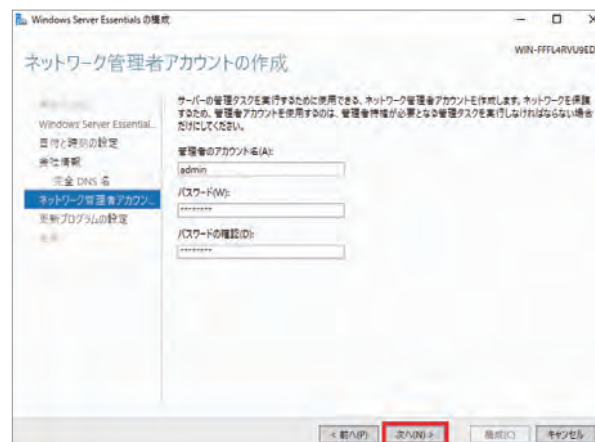
8-2. 完全DNS名を設定

8-1で[次へ]をクリックする前に、内部ドメイン名の右横に青文字で表示されている[完全DNS名の設定(F)]をクリックすると、完全DNS名を設定することができます。設定後、[次へ]をクリックします。



9. ネットワーク管理者アカウントの作成

「ネットワーク管理者アカウントの作成」画面が表示されますので、ご使用になる管理者名とパスワードを入力してください。入力後、[次へ]をクリックします。

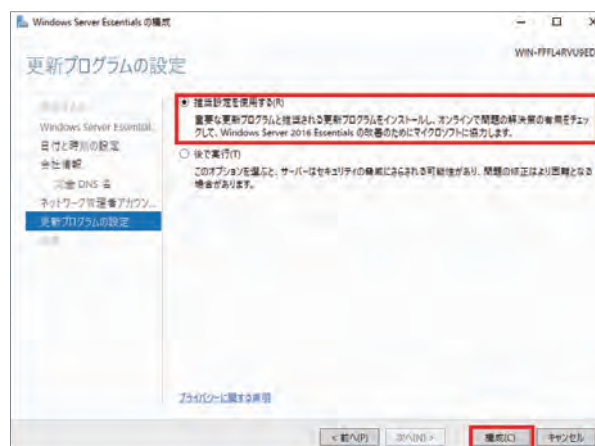


10. 更新プログラムの設定

サーバーを自動的に最新の状態に保つ「更新プログラムの設定」画面です。[推奨設定を使用する(R)]にチェックし、[構成]をクリックします。



ここで入力するネットワーク管理者のアカウント名とパスワードは、コンピューターの管理者アカウント名と重複することができません。



※入力したものを下記にお控えください。サポートの際などに必要になります。

ネットワーク管理者のアカウント名:

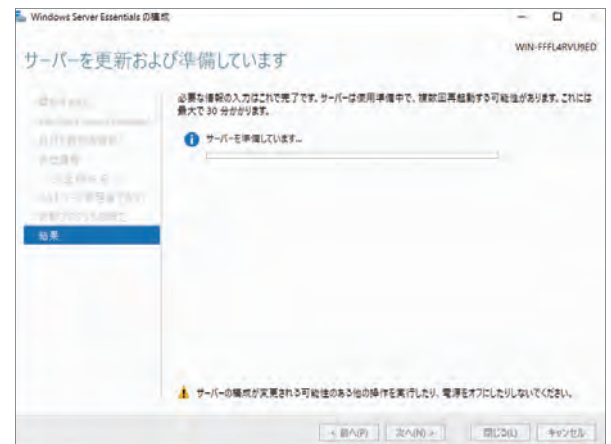
パスワード:

11. サーバーを更新および準備

「サーバーを更新および準備しています」画面が表示されますので、しばらくお待ちください。



本サーバーが複数回再起動され、30分程度時間がかかります。最後の画面が出るまで、電源を切らないでください。

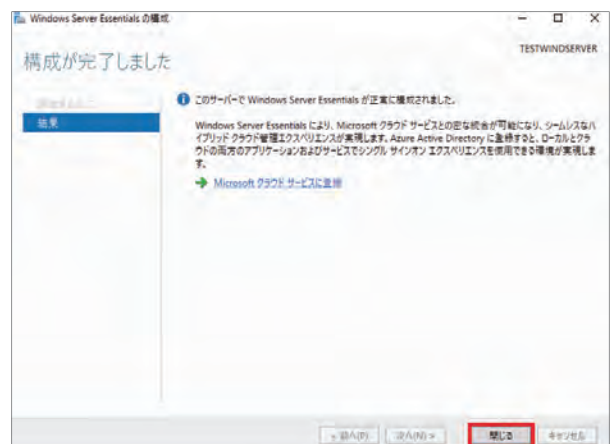


12. 構成完了

「構成が完了しました」画面が表示されますので、[閉じる]をクリックしてください。
セットアップは終了です。

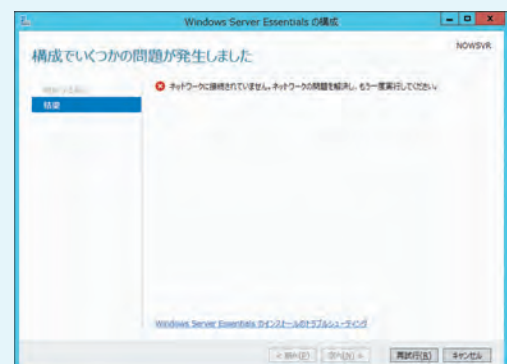


本セットアップで作成した内容は今後も使用します。必ず本マニュアルを保管しておいてください。



ネットワーク接続が失敗した場合

ネットワーク接続が失敗した場合には、「サーバーを更新および準備しています」画面でエラーが表示される事があります。
ネットワークを再接続し、再試行します。



2. Windows Server 2016 Essentials のセットアップ

本章では、Windows Server 2016 Essentials のセットアップについて説明します。

セットアップは、ダッシュボードのホームにあるセットアップタスクから実行します。

ここでは、Windows Server 2016 Essentials をダッシュボードでセットアップする方法について以下の項目について紹介します。

2-1. サーバーのバックアップ

2-2. 更新プログラムの入手

2-3. ユーザーアカウントの追加

2-4. サーバーフォルダーの追加

2-5. Windows Defenderのセットアップ

2-6. クライアント復元サービスのセットアップ

2-7. コンピューター回復キーの作成

2-8. クライアントのセットアップ

2-8-1. コンピューターに接続する

2-8-2. クライアントの復元用ドライバーの取得

2-1. サーバーのバックアップ

1. 外付けUSBハードディスクを接続、または本体の空きスロットにハードディスクを接続

外付けUSBハードディスクに接続する、または、本体の空きスロットにHDDを接続します。USBハードディスクはサーバー本体に接続したままにしてください。



※外付けハードディスクはバックアップを定期的に保管する先になりますので、背面のUSBポートに接続することをお勧めします。

外付けHDDなど

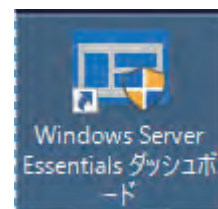


NOWingSERVER本体



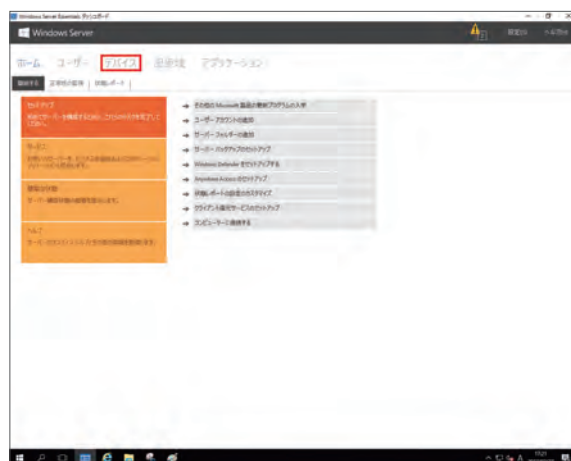
2. ダッシュボードを起動

デスクトップ画面にある[ダッシュボード・アイコン]をクリックして、ダッシュボードを起動します。



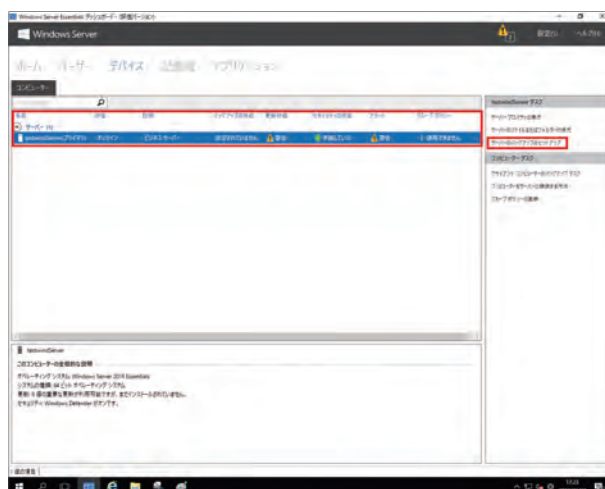
3. ダッシュボードの「デバイス」タブをクリック

ダッシュボードが起動されるので、「デバイス」タブをクリックします。



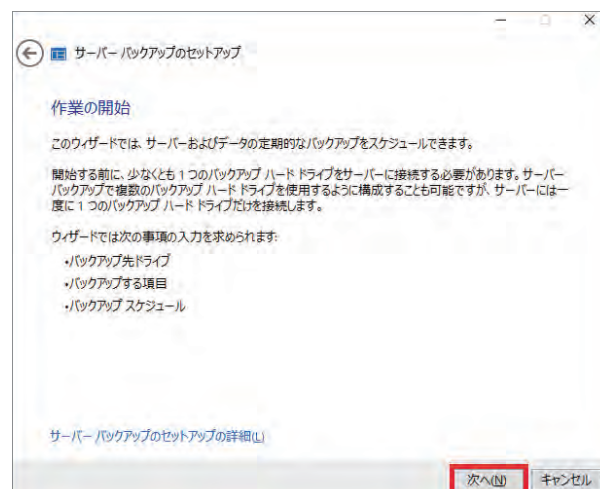
4. サーバーのバックアップのセットアップ

サーバー欄に本サーバーが表示されますので、サーバーを選択し右側タスク画面の[サーバーのバックアップのセットアップ]をクリックします。



5. サーバーのバックアップ開始

「作業の開始」画面が表示されますので、作業項目を確認し、[次へ]をクリックしてください。

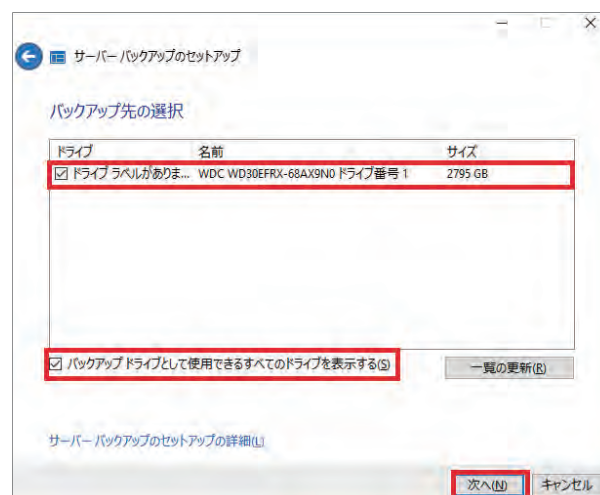


6. バックアップ先を指定

「バックアップ先の選択」画面が表示されますので、バックアップ先として外付けハードディスク、または、バックアップ先に☒を入れ、[次へ]をクリックします。



※一覧に外付けハードディスクが表示されない場合は、下段の[バックアップディスクとして使用できるすべてのディスクを表示する]に☒を入れてください。

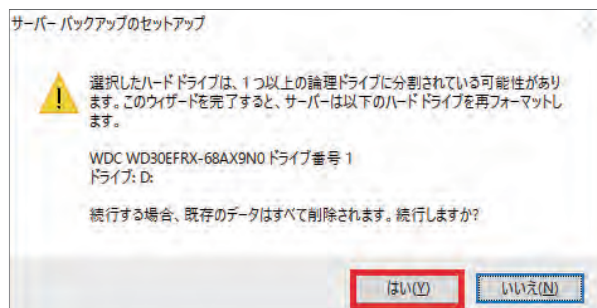


7. バックアップ先を確認

確認画面が表示されますので、内容を確認し、[はい]をクリックします。



※データの入っている外付けハードディスクを使用される場合は、既存のデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

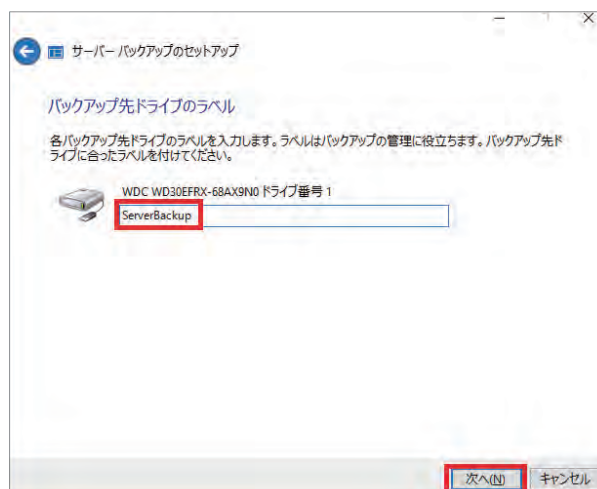


8. バックアップ先ドライブに名称をつける

「バックアップ先ドライブのラベル」画面が表示されますので、任意の名称を入力してください。



※例：ServerBackup や日付などわかりやすい名称にすると便利です。

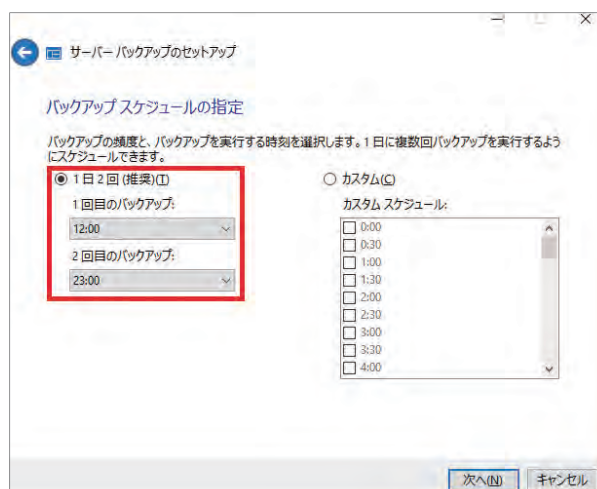


9. バックアップスケジュールの指定

「バックアップスケジュールの指定」画面が表示されるので、バックアップのタイミングを設定し、[次へ]をクリックします。

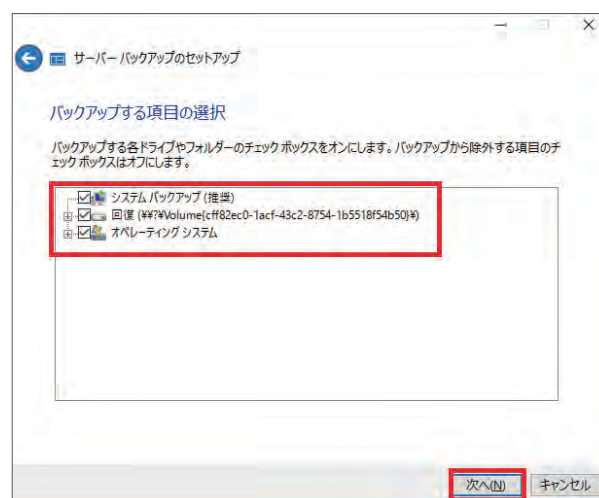


※推奨は 1 日 2 回のバックアップです。本サーバーは常時稼働前提ですので、業務があまりされない時間を選択してください。
例：お昼休み時間帯と夜間時間帯など



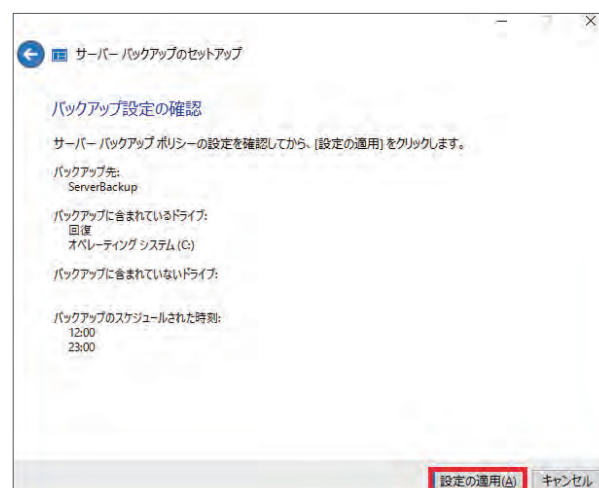
10. バックアップする項目の選択

「バックアップする項目の選択」画面が表示されますので、全部の項目に☑が入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。



11. バックアップ設定の確認

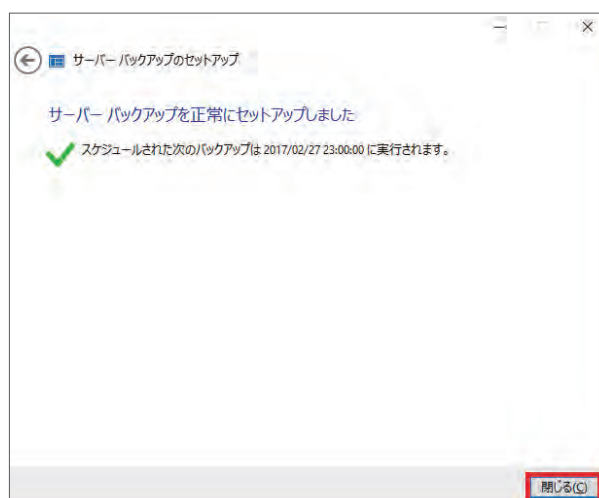
「バックアップ設定の確認」画面が表示されますので、設定項目に相違がないかを確認し、[設定の適用]をクリックします。



12. サーバーのバックアップ 設定終了

「サーバーバックアップを正常にセットアップしました」画面が表示されますので、[閉じる]をクリックしてください。

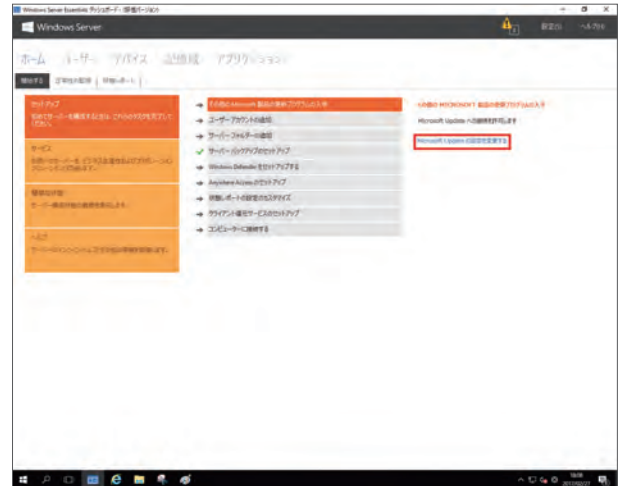
これでサーバーのバックアップ設定は終了です。



2-2. 更新プログラムの入手

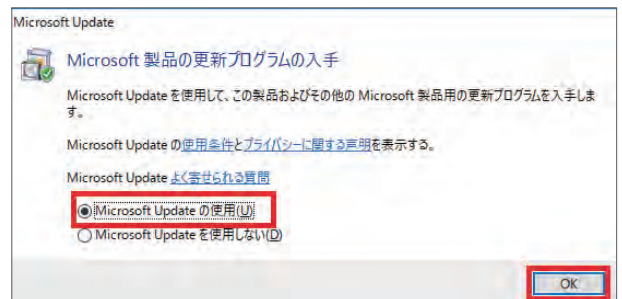
1. その他のMicrosoft製品の更新プログラムの入手

「開始する」タブのセットアップで、「その他のMicrosoft製品の更新プログラムの入手」を選択し、右側のタスクメニューから[Microsoft updateの設定を変更する]をクリックします。



2. Microsoft製品の更新プログラムの入手

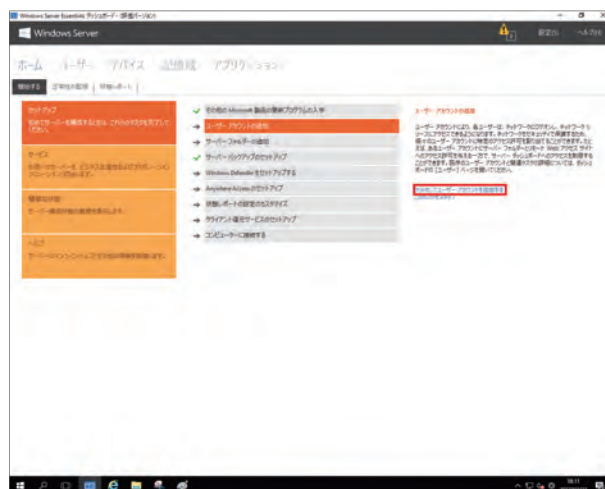
「Microsoft製品の更新プログラムの入手」画面が表示されるので、[Microsoft Updateの更新(U)]を選択し、[OK]をクリックします。



2-3. ユーザーアカウントの追加

1. ユーザーアカウントの追加

「開始する」タブのセットアップで、「ユーザーアカウントの追加」を選択し、右側のタスクメニューから「クリックしてユーザーアカウントを追加する」をクリックします。



2. ユーザーアカウント情報を入力

「新しいユーザーアカウントの名前とパスワードを入力」画面が表示されますので、クライアントPCを使用される方の姓名（本例では、「山田太郎」）およびユーザーアカウント名（本例では、「yamada」）とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

新しいユーザー アカウントの名前とパスワードの入力

姓(L):	山田	名(F):	太郎
ユーザー アカウント名(U):	yamada		
パスワード(P):	*****	パスワードの確認(C):	*****

- ✓ パスワードが一致しています
- ✓ パスワードは7文字以上である必要があります
- ✓ パスワードは複雑さの要件を満たす必要があります (詳細)

アクセスのレベル(L): 標準ユーザー

次へ(N) キャンセル



※アクセスレベルを設定できますが、通常は[標準ユーザー]のままで問題ありません。[管理者]を選択した場合は、「1.はじめに実施すること」で作成した管理者と同一権限になります。

アカウント情報について

<ユーザーアカウント名>

ユーザーアカウント名は半角英数字を推奨します。日本語(2バイト文字)を使用すると、ソフトウェアにより動作しない場合があります。ユーザーアカウントはクライアントの設定にも使用するので、記録しておくことをおすすめします。

<パスワードについて>

パスワードは8文字以上で、次の種類のうち、少なくとも3種類を含む必要があります。英字で大文字、英字で小文字、数字、記号より3種類です。

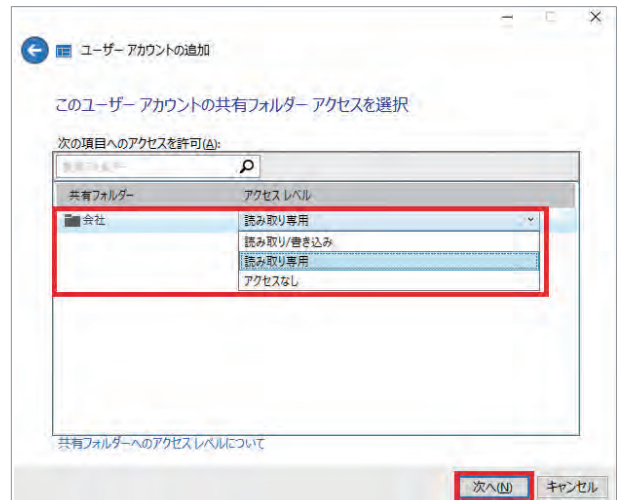
例: Password01!

3. アクセス権を設定

「このユーザーアカウントの共有フォルダーアクセスを選択」画面が表示されますので、[会社]フォルダーのアクセス権を設定します。

既定値は「読み取り専用」になっていますので、必要に応じて、「読み取り/書き込み」や「アクセスなし」に変更して[次へ]をクリックします。

! ※読み取り専用にすると、ここで追加したユーザーはフォルダファイルの追加や削除ができません。



4. Anywhere Accessを有効にする

「このユーザーアカウントのAnywhere Accessを有効にする」画面が表示されますので、許可する項目にチェックを入れ、[アカウントの作成]をクリックします。

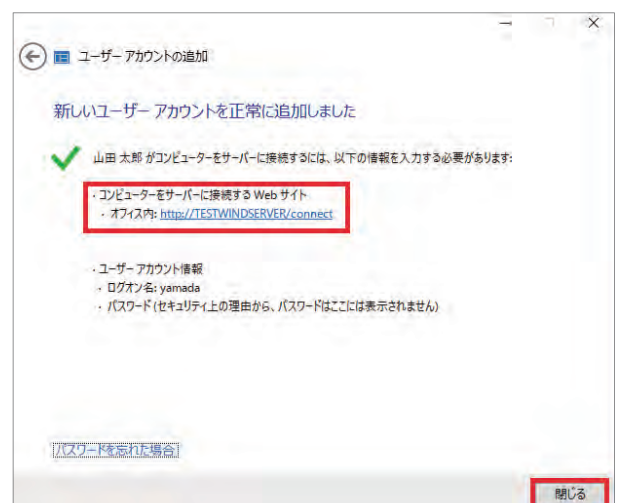


5. 追加完了

「新しいユーザーアカウントを正常に追加しました」画面が表示されます。ここで表示されるhttpから始まる接続先をメモし、[閉じる]をクリックします。これで、ユーザーアカウントの追加の設定は終了です。

同じ方法でサーバーに接続するクライアントの台数、または人数分、アカウントを作成してください

※アカウントは25個まで作成できます。



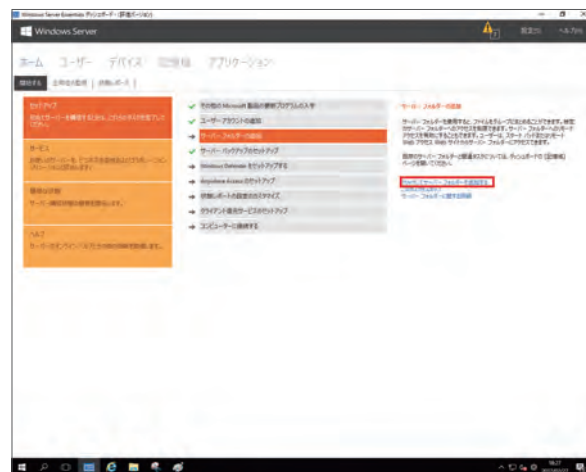
接続先: http://

※ 「1章 始めに実施すること 8. 会社情報を入力(P9)」で入力した「サーバー名」が入ります。

2-4. サーバーフォルダーの追加

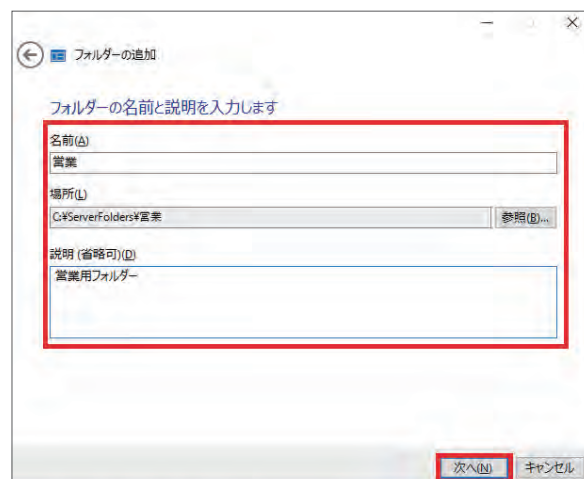
1. サーバーフォルダーの追加

「開始する」タブのセットアップで、「サーバーフォルダーの追加」を選択し、右側のタスクメニューから[クリックしてサーバーフォルダーを追加する]をクリックします。



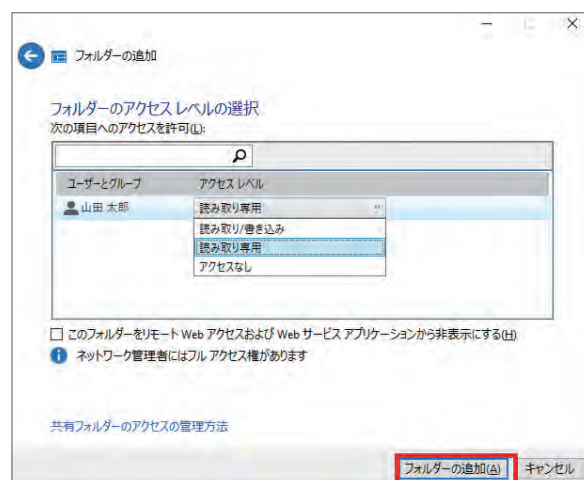
2. フォルダーの名前と説明を入力

「フォルダーの名前と説明を入力します」画面が表示されるので、追加したいフォルダーの名前（本例では、「営業」）、説明（本例では、「営業用フォルダー」）を入力します。フォルダーの置く場所を指定したい場合は「参照」をクリックして指定してください。完了したら、[次へ]をクリックします。



3. フォルダーのアクセスレベルの選択

「フォルダーのアクセスレベルの選択」画面が表示されるので、追加したフォルダーのアクセス権を登録されているユーザーに対して設定します。既定値は「読み取り専用」になっていますので、必要に応じて、「読み取り/書き込み」や「アクセスなし」に変更して[フォルダーの追加]をクリックします。

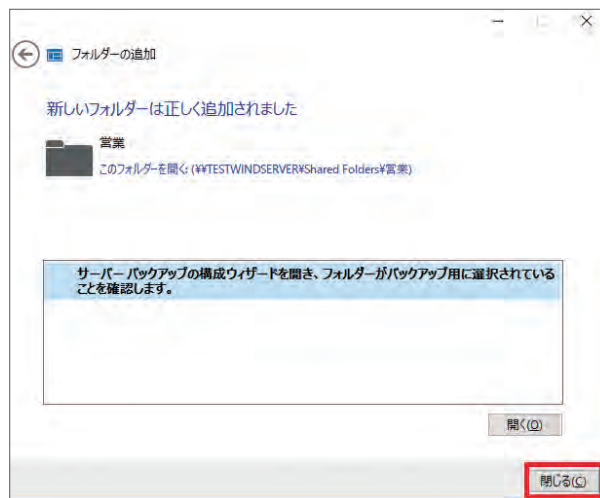


4. 追加完了

「新しいフォルダーは正しく追加されました」画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。これで、サーバーフォルダーの追加の設定は終了です。更に追加したいフォルダーがあれば、同じ方法で追加してください。



必要に応じて、サーバーバックアップの構成ウィザードを開き、追加したフォルダーがバックアップ用に選択されているか確認することができます。行いたい場合は、右下の[開く]をクリックします。



2-5. Windows Defender をセットアップ

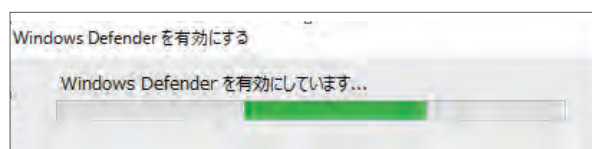
1. Windows Defenderを セットアップする

「開始する」タブのセットアップで、「Windows Defender をセットアップする」を選択し、右側のタスクメニューから[クリックしてWindows Defender を有効にします]をクリックします。



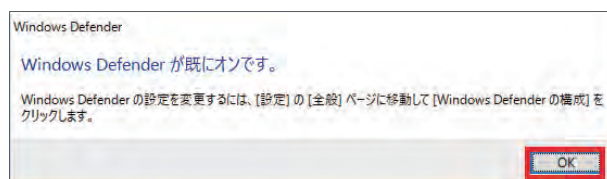
2. Windows Defenderを 有効にする

「Windows Defender を有効にしています」画面が表示されますので、しばらく待ちます。



3. Windows Defenderが 既にオンです

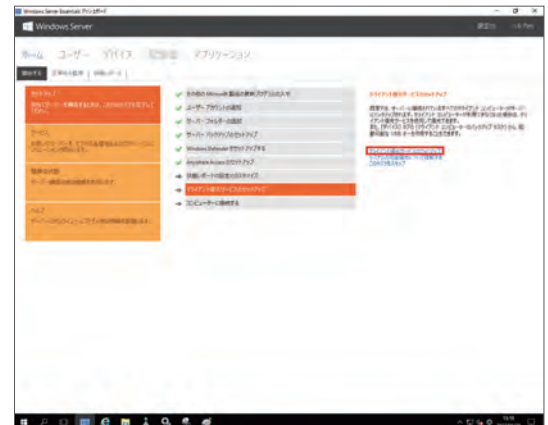
「Windows Defender が既にオンです」画面が表示されたら、[OK]をクリックします。これで、Windows Defender のセットアップは終了です。



2-6. クライアント復元サービスのセットアップ

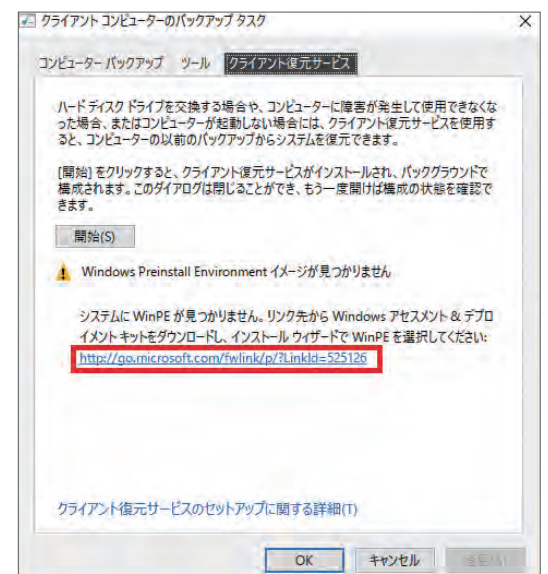
1. クライアント復元サービス」をセットアップする

「開始する」タブのセットアップで、「クライアント復元サービスのセットアップ」を選択し、右側のタスクメニューから[クライアント復元サービスのセットアップ]をクリックします。



2. WindowsPEイメージの入手

「クライアント復元サービス」タブを選択後、「開始」をクリックすると、「Windows PE イメージが見つかりません」メッセージが表示されるので、イメージを入手するために赤枠のリンクをクリックします。

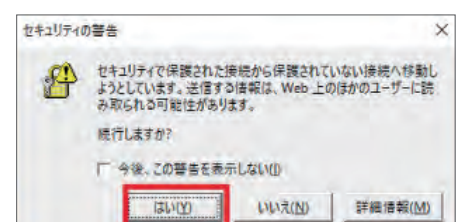


3. セキュリティの警告メッセージが表示された場合

設定手順の途中で、右のようなメッセージが表示される場合があります。その際は、「閉じる」または「はい」をクリックしてください



※セキュリティの問題で、Step 4 に進めない場合は、本章の「トラブルシューティング」を参照ください



4. Windows ADKのダウンロード

「Windows ADK ダウンロード」画面が表示されるので、入手するADKのバージョンを選択してクリックしてください。

※ 本例では、バージョン1703のADKを選択します。



5. ADK ダウンロードの実行

下中央にメッセージが表示されるので、実行を選択してクリックしてください。



6. ストアアイコンの表示

「サーバーバックアップを正常にセットアップしました」画面が表示されますので、[閉じる]をクリックしてください。

これでサーバーのバックアップ設定は終了です。



※右のような画像が表示される場合があります。
その際は、しばらく待ちます。

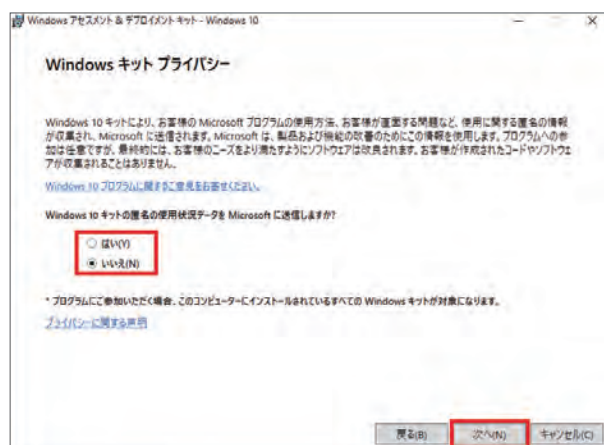
7. 場所の指定

ダウンロードする場所の指定を行います。
「次へ」をクリックしてください。



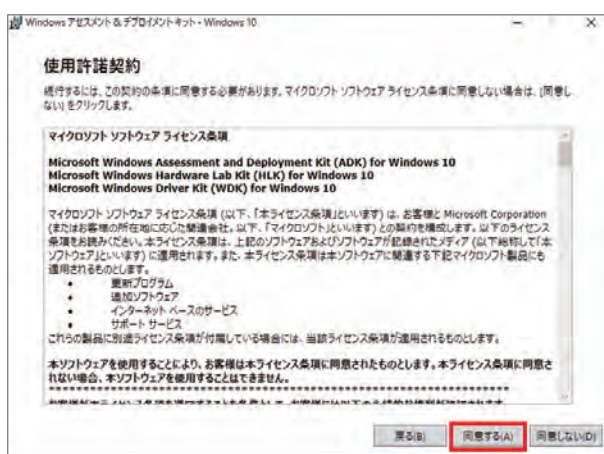
8. Windows キット プライバシー

Windows 10 キットの使用状況をマイクロソフトに匿名で送信する場合は、「はい」を選択します。本例では、「いいえ」を選択しています。「次へ」をクリックします。



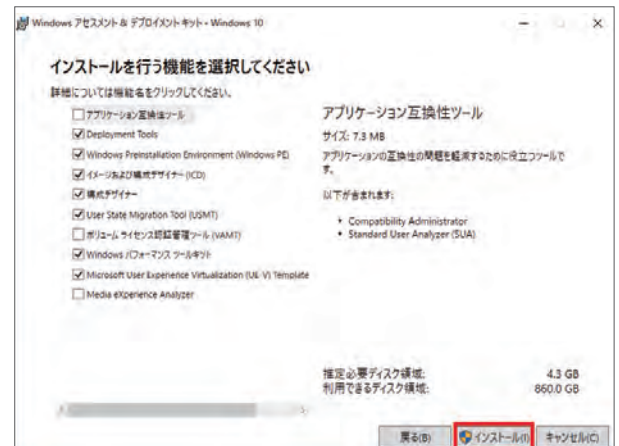
9. 使用許諾契約の同意

「使用許諾契約」の内容を確認の上、
「同意する」を選択してクリックします。



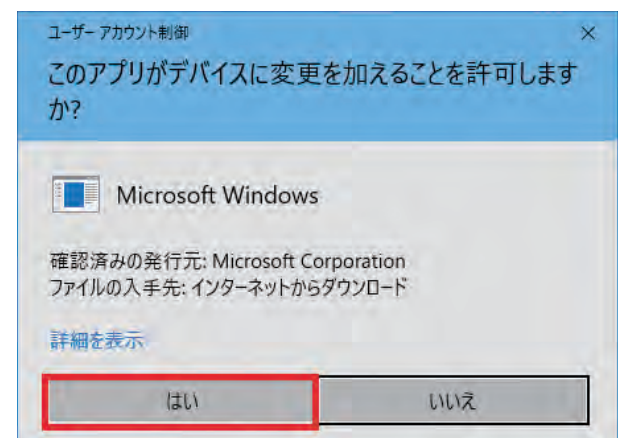
10. インストールを行う機能の選択

インストールする機能を選択後、「インストール」をクリックします。



11. ユーザーアカウント制御

「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。その際は、「はい」を選択してクリックしてください。



12. 機能のインストール

機能のインストールが始まります。進捗バーが100%になるまで、しばらく待ちます。



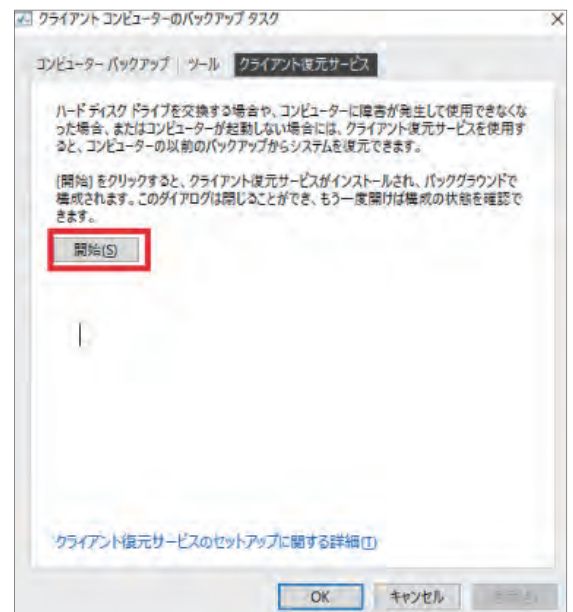
13. インストールの完了

右の画面が表示されたら、キットのインストールは完了です。



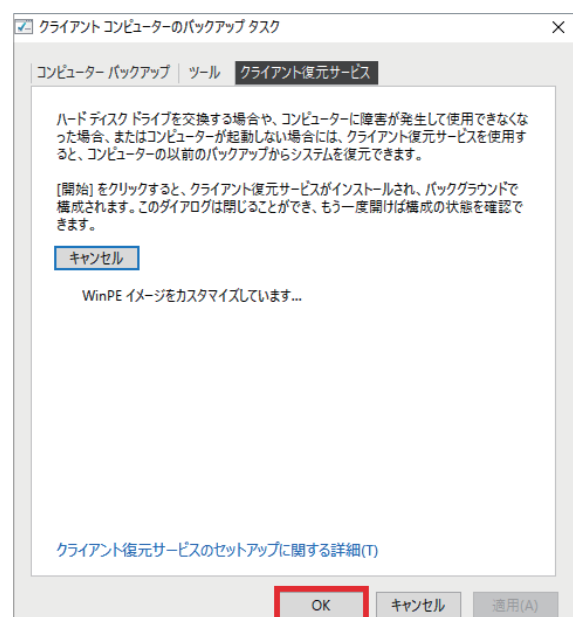
14. 復元サービスの開始

復元サービスを開始する為に、step 2の画面を表示して「開始」をクリックします。



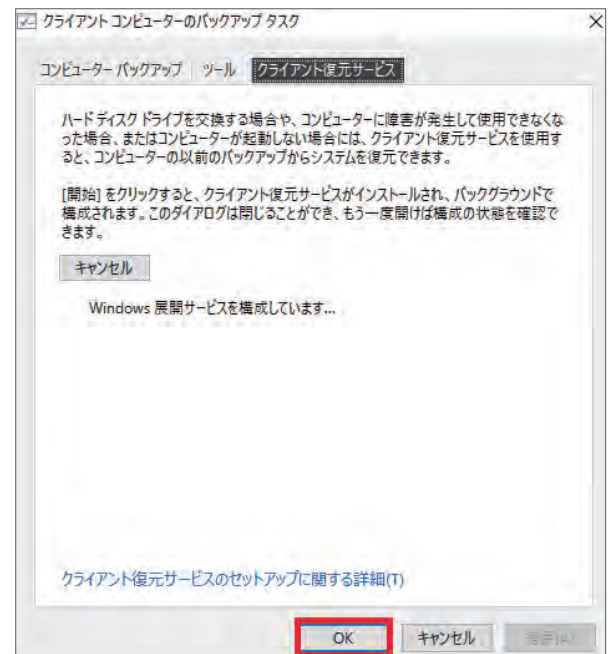
15. WinPE イメージのカスタマイズ

WinPE イメージのカスタマイズが開始されるので、しばらく待ちます。



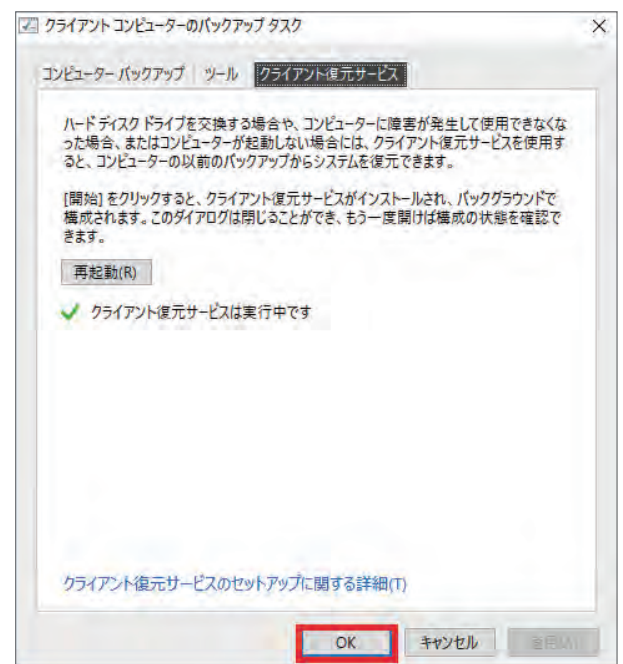
16. Windows展開サービスの構成

「WinPE イメージのカスタマイズ」が完了すると、「システムの完全復元メディアを作成しています」というメッセージに変わり、その後、「Windows展開サービスの構成しています」メッセージが表示されますので、しばらく待ちます。



17. クライアント復元サービスの実行

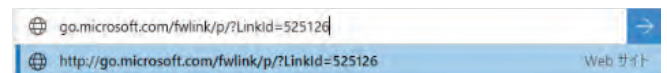
「クライアント復元サービスは実行中です」のメッセージが表示されたら、クライアント復元サービスのセットアップは完了です。「OK」をクリックします。



実行ファイルが ダウンロードできない場合

1. クライアントパソコンを準備

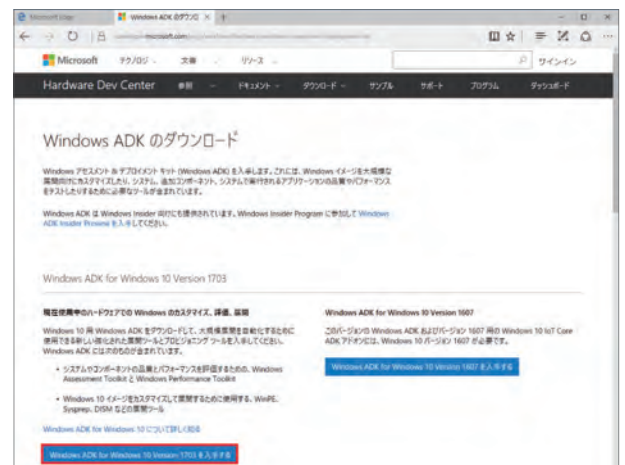
サーバーのブラウザーは、セキュリティが厳しく設定されている為、実行ファイルをダウンロードできない場合があります。その場合は、Step2の赤枠のURLをメモし、クライアントパソコンのEdge(又はIE)からそのURLにアクセスします。



2. Windows ADKのダウンロード

「Windows ADKのダウンロード画面」が表示されますので、入手するADKのバージョンを選択してクリックしてください。

※ 本例では、バージョン1703のADKを選択します。



3. ダウンロードした ファイルを保存

下中央にグレーの画面が表示されるので、「名前を付けて保存」をクリックして、任意の場所にダウンロードした「adksetup.exe」という名前のファイルを保存します。



4. 保存したファイルをUSBメモリーにコピー

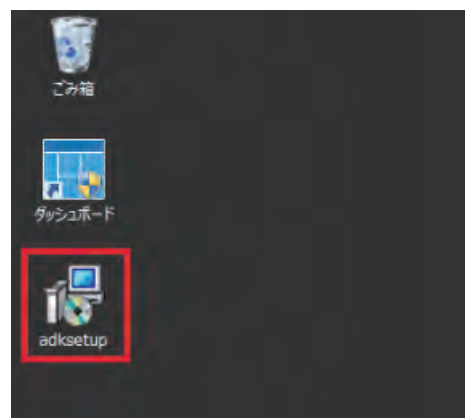
エクスプローラーに表示される「adk-setup.exe」をUSBメモリーにコピー後、そのUSBメモリーをサーバーに接続します。



5. サーバーにファイルをコピーして実行

USBメモリーから、サーバーの任意のフォルダーにファイルをコピー後、そのアイコンをダブルクリックします。

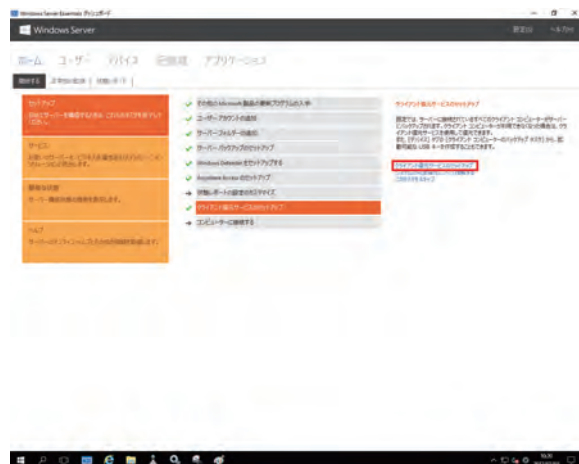
「adksetup.exe」が実行され、step6の「ストアアイコン」が表示されますので、本章の手順に従って、step 17までを完了してください。



2-7. コンピューター回復キーの作成

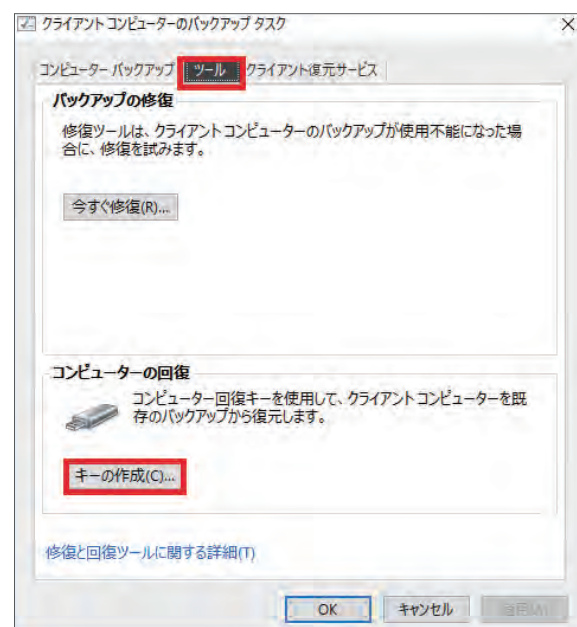
1. クライアント復元サービス」をセットアップする

「開始する」タブのセットアップで、「クライアント復元サービスのセットアップ」を選択し、右側のタスクメニューから[クライアント復元サービスのセットアップ]をクリックします。



2. キーの作成

「クライアントコンピューターのバックアップタスク」画面が表示されるので、「ツールタブ」を選択し、「キーの作成」をクリックします。



3. 起動可能なUSBフラッシュドライブの作成

「起動可能なUSBフラッシュドライブの作成」画面が表示されるので、USBフラッシュドライブをサーバーに挿入して「次へ」をクリックします。

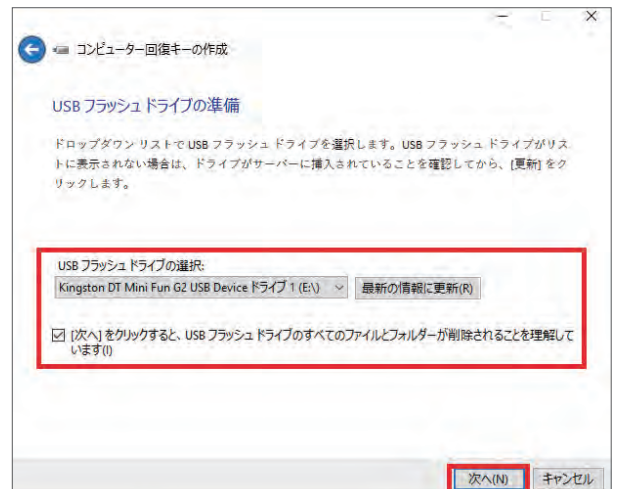


※ 準備したUSBフラッシュドライブの内容はすべて削除される



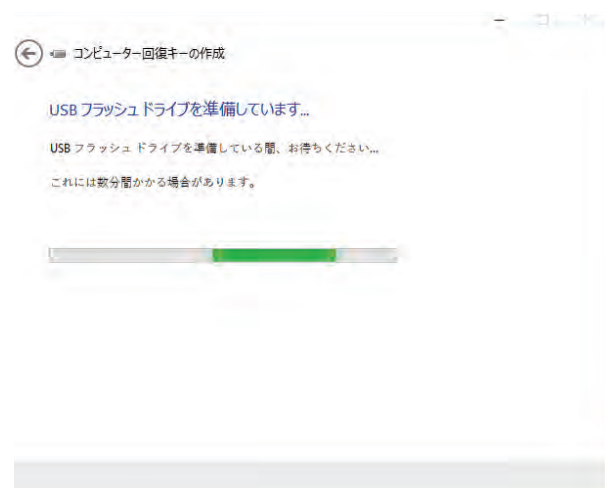
4. USBフラッシュドライブの準備

「USBフラッシュドライブの準備」画面が表示されるので、回復キーを保存するUSBフラッシュドライブが選択されている事を確認して「次へ」をクリックすると、USBフラッシュドライブのすべてのファイルとフォルダーが削除されることを理解しています」にチェックマークを入れて「次へ」をクリックします。



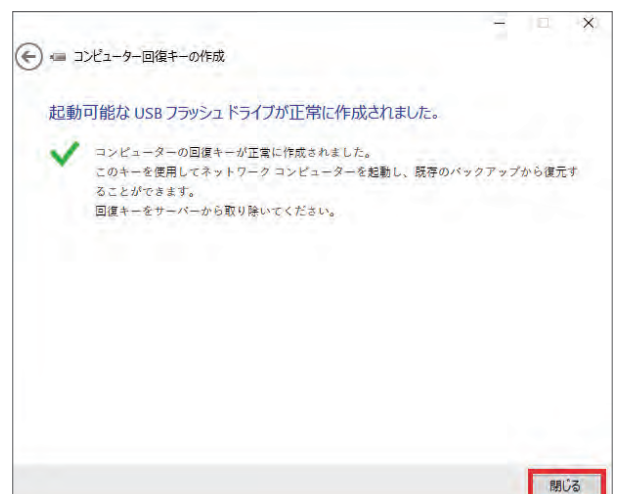
5. USBフラッシュドライブを準備しています

「USBフラッシュドライブを準備しています」画面が表示されるので、完了するまでしばらく待ちます。



6. 完了

「起動可能なUSBフラッシュドライブが正常に作成されました」画面が表示されたら、回復キーの作成は完了です。「閉じる」をクリックします。



2-8. クライアントのセットアップ

本章ではNOWing SERVER for SMB G4におけるクライアントの追加方法を説明しています。本サーバーに各パソコンをクライアントとして追加することで、クライアントのアカウントの管理とバックアップを行うことができます。

本サーバーに接続できるクライアントのOSの種類

- Windows 8.1Pro
- Windows 10 Pro
- Windows 7 Professional(SP1)以上、Ultimate(SP1) 以上
- Macintosh OS X versions 10.5 to 10.8

※1 上記以外のWindowsパソコンを接続した場合、バックアップやアカウント管理、リモートアクセスなどは使用できません。

※2 Windows XP、Windows Vista より古いOSは接続できません。

※3 として「Macintosh OS クライアントを接続する場合は、機能制限があります。本マニュアルには、「Macintosh OS クライアントを接続する方法については含んでいません。

詳細は右記URLを参照ください。 [https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/jj713510\(v=ws.11\).aspx](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/jj713510(v=ws.11).aspx)

セットアップの流れ

STEP
1

サーバー本体で、アカウント(ユーザー名)の作成をします。

この章では、クライアントとは、業務で使用されている各々のWindows PCを【クライアント】と呼びます。アカウントの作成は、使用される人数(台数)毎に必要になります。

本方法については、「2-3」を参照ください

STEP
2

クライアントからサーバーへ接続する作業をします。

この作業でクライアントをサーバーへ接続します。クライアントごとに実施する必要があります。

本方法については、本章の「2-8-1」で説明しています。

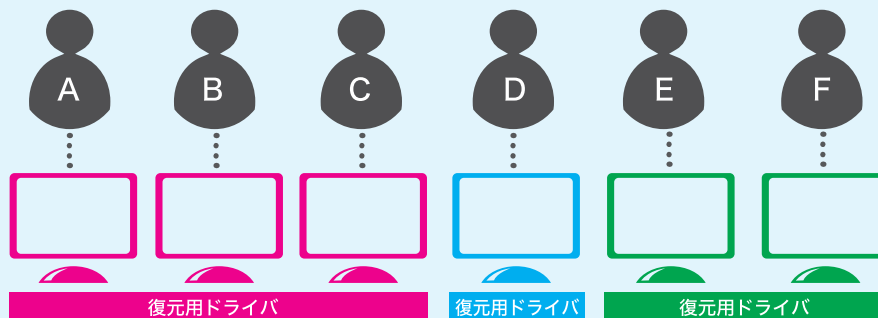
STEP
3

PCの機種ごとに復元用ドライバの取得をします。

復元ドライバの取得はクライアントのパソコンの機種ごとに必要です。全てのクライアントが同一機種(同一メーカー、同一型番)であれば、複数回繰り返す必要はありません。

<例>

Step:1 アカウントは人数分(=6つ)作成します



Step:3 復元用ドライバは機種ごとに作成します

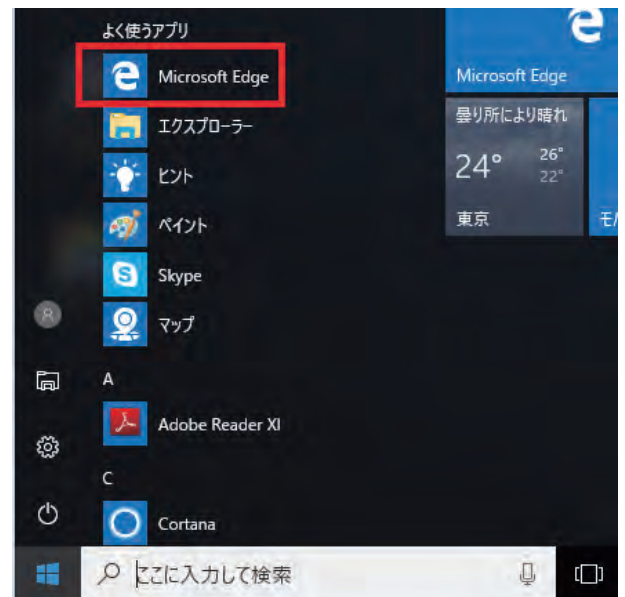
本方法については、本章の「2-8-2」で説明しています。

2-8-1. コンピューターに接続する

Windows 10 の場合

1. Edge を起動

サーバーに接続するクライアントパソコンを起動し、Edgeを起動します。



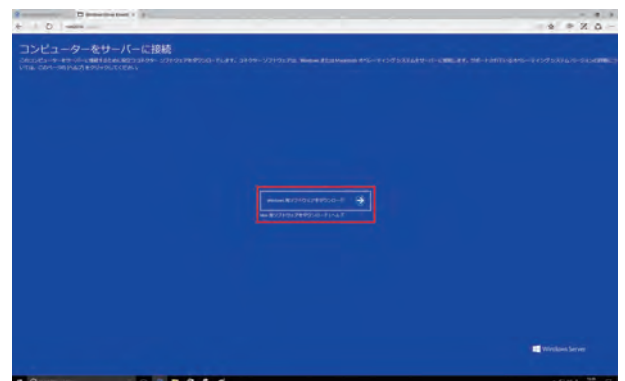
2. 接続先を入力

Edgeの「検索またはWebアドレスを入力」と表示されているバーに、「2-3 ユーザーアカウントの追加」step 5(p19)にてメモした接続先を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



3. Windows用ソフトウェアをダウンロード

「コンピューターをサーバーに接続」画面が表示されますので、「Windows用ソフトウェアをダウンロード」をクリックします

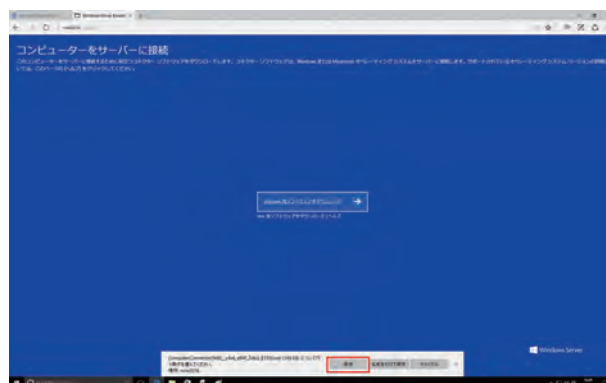


4. ダウンロードした ファイルを保存

下部中央にグレーの画面が表示されるので、「保存」をクリックしてください。



※本画面が表示されず、Step 5の画面が表示される場合もあります。

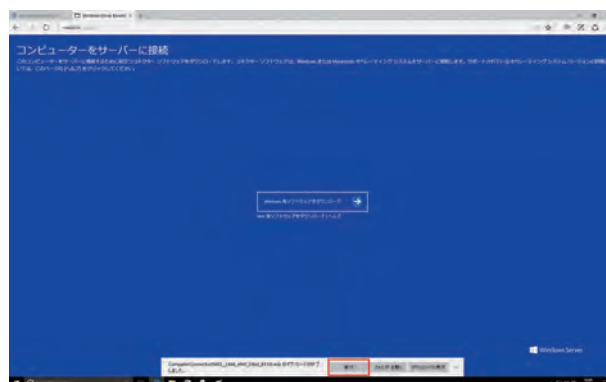


5. ファイルのダウンロードを実行

下部中央のグレーの画面が「ダウンロードを完了しました」に表示が変わるので、「実行」をクリックしてください。

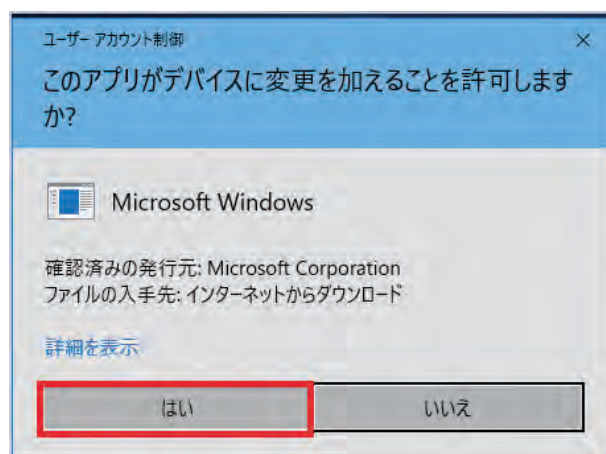


※本画面の「実行」ボタンの右のボタンが「ファイルを開く」ではなく「保存」と表示される場合もあります。



6. ユーザーアカウント制御

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



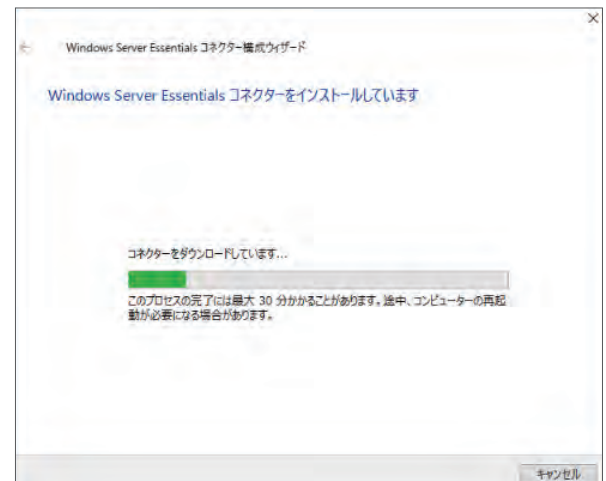
7. ライセンス条項

「ライセンス条項」画面が表示されますので、「同意する」ボックスにチェックマークを入れて、「次へ」をクリックします。



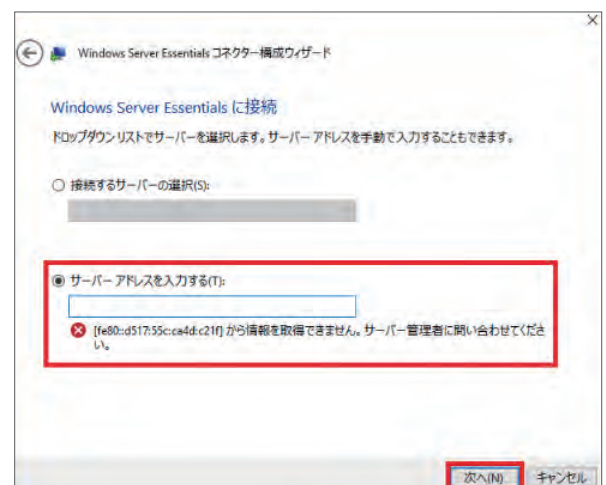
8. コネクタソフトをインストール

「Windows Server Essentials コネクタをインストールしています」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



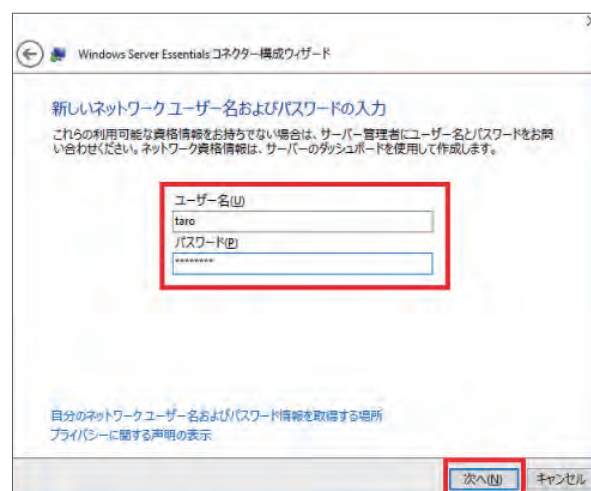
9. コンピューターをサーバーに接続

本画面が表示される場合は、サーバーアドレスを赤枠に入力して、「次へ」をクリックしてください。



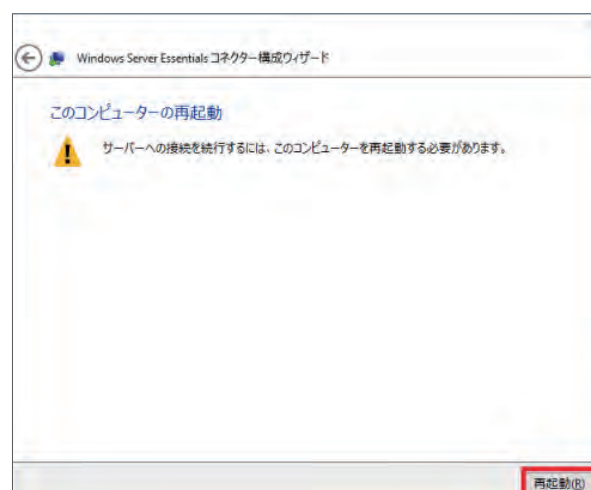
10. ユーザー名とパスワードを入力

「新しいネットワークユーザー名およびパスワードの入力」画面が表示されますので、「2-3 ユーザーアカウントの追加」step 2(p18)で作成したユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



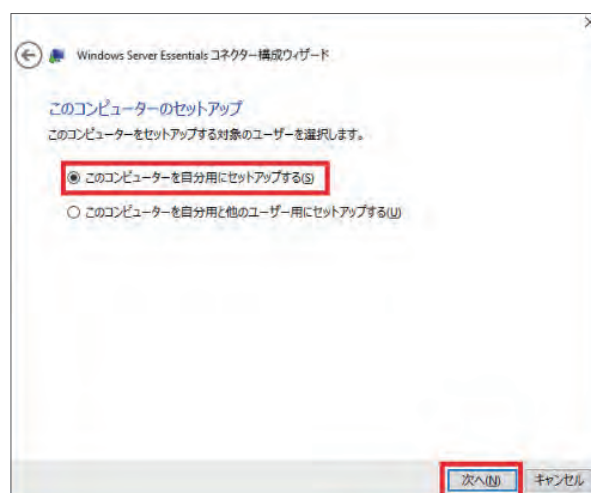
11. コンピューターの再起動

「このコンピューターの再起動」画面が表示されますので、「再起動」をクリックします。クライアントパソコンが再起動されます。



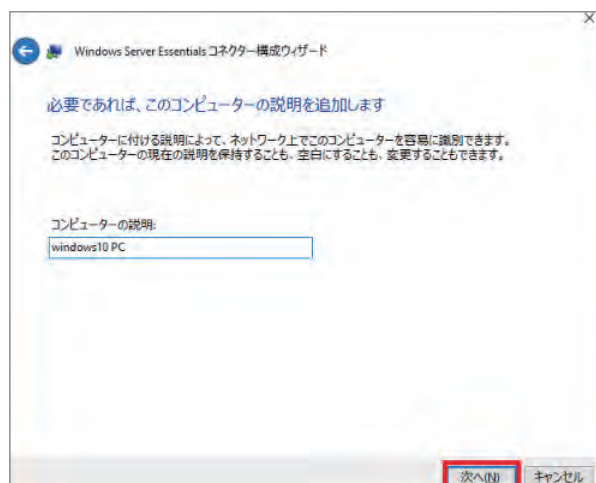
12. コンピューターのセットアップ

セットアップしているクライアントパソコンが自分のみ使用の場合は、「このコンピューターを自分用にセットアップする」を選択、共有PCの場合は、「このコンピューターを自分用と他のユーザー用にセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックします。



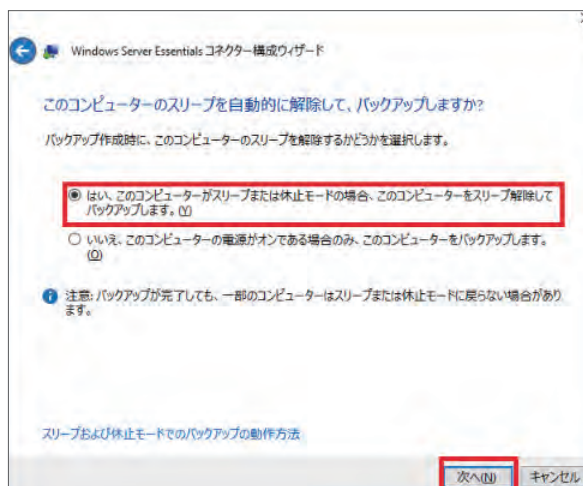
13. コンピューターの説明を追加

「必要であれば、このコンピューターの説明を追加します」画面が表示されるので、必要に応じてコンピューターの説明を入力し、「次へ」をクリックします。



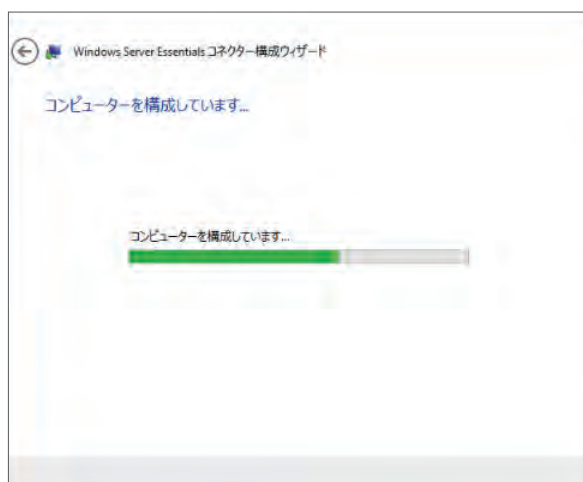
14. バックアップの設定

「このコンピューターのスリープを自動的に解除して、バックアップしますか？」画面が表示されますので、「はい」か「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。



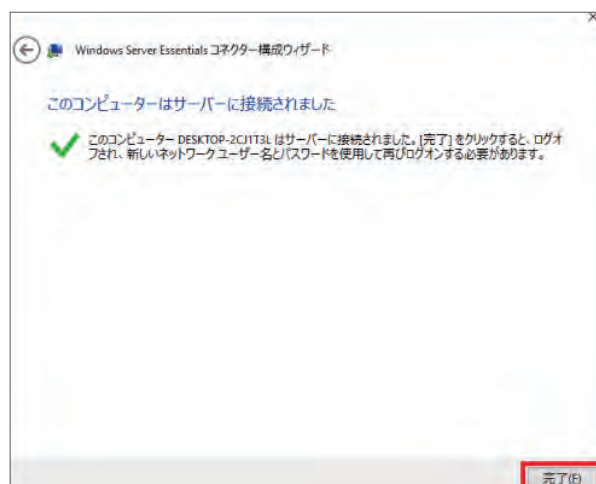
15. コンピューターを構成

「コンピューターを構成しています」画面が表示されますので、構成が完了するまでしばらく待ちます。



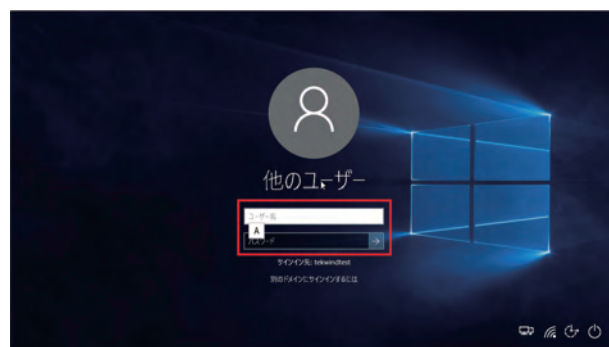
16. 完了

「このコンピューターはサーバーに接続されました」画面が表示されますので、「完了」をクリックします。



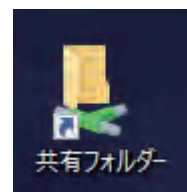
17. ドメインにログオン

一度、サインアウトされます。[Ctrl]+[Alt]+[Del]キーを同時に押すと「ドメインログオン」画面が表示されますので、step10で設定したユーザー名とパスワードを入力し、チェックをクリックします。



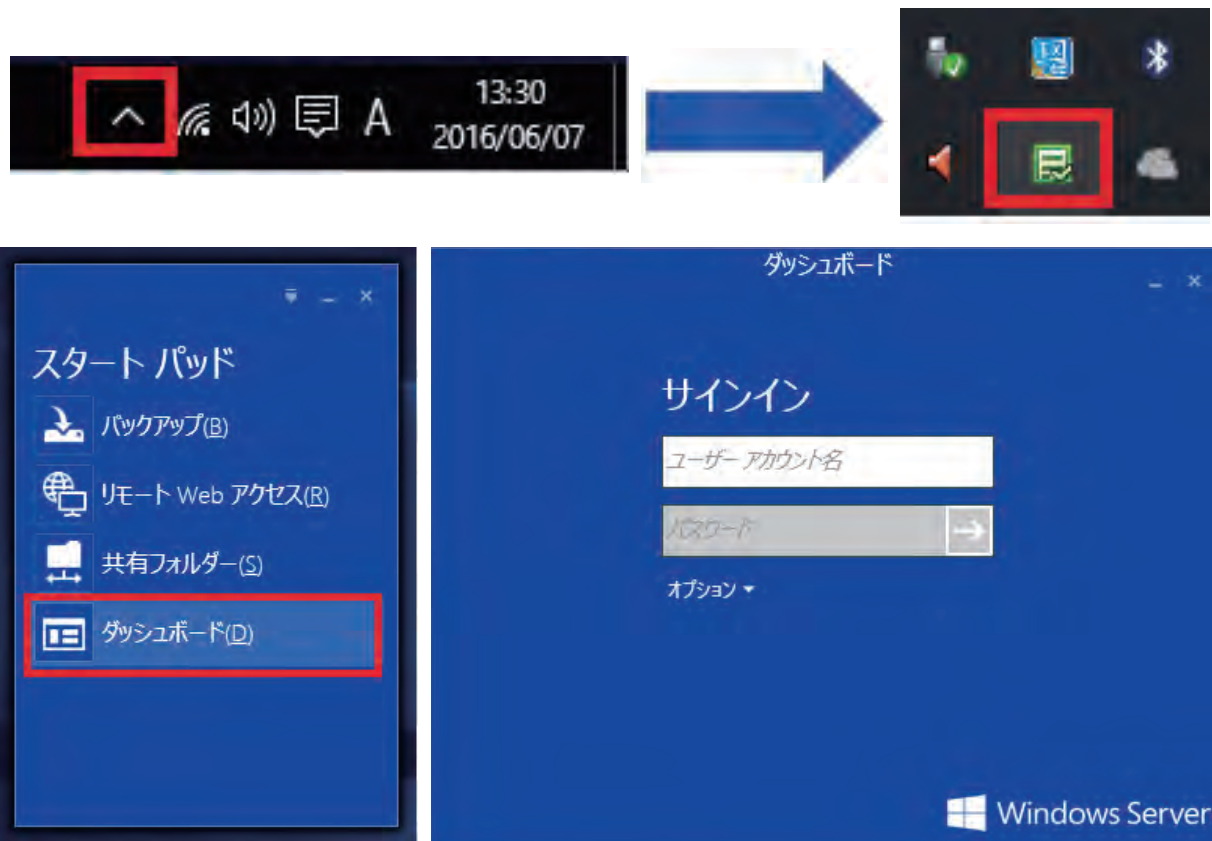
18. 共有フォルダーの表示

クライアントパソコンがサーバーにログオンすると、デスクトップ画面に共有フォルダーのアイコンが表示されます。



19. ダッシュボードのログイン画面を表示

右下の^マークをクリックするとアプリが表示されます。赤枠の  をクリックするとスタートパッドが表示されます。スタートパッドのダッシュボードをクリックするとダッシュボードのログイン画面が表示されます。これでクライアントパソコンのサーバーへの接続が完了します。



Windows 8.1 の場合

1. Internet Explorer を起動

サーバーに接続するクライアントパソコンを起動し、Internet Explorerを起動します。



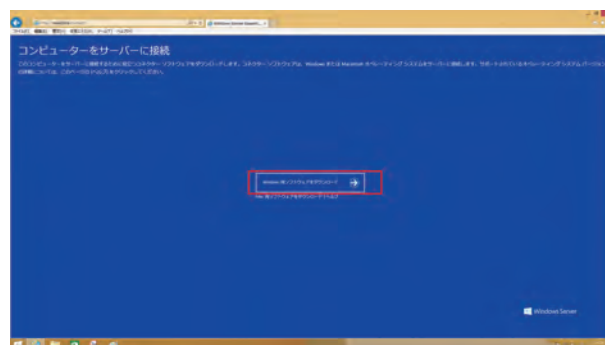
2. 接続先を入力

Internet Explorerのアドレスバーに、「2-3 ユーザーアカウントの追加」step 5(p19)にてメモした接続先を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



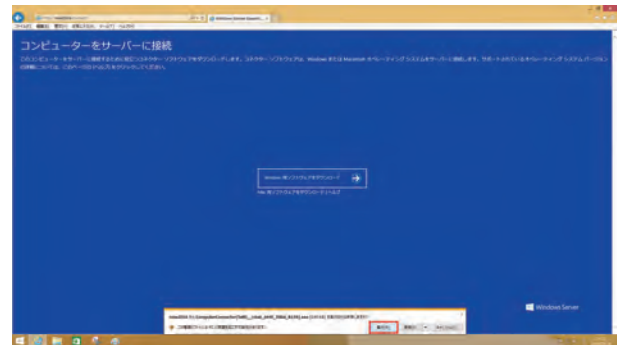
3. Windows用ソフトウェアをダウンロード

「コンピューターをサーバーに接続」画面が表示されますので、「Windows用ソフトウェアをダウンロード」をクリックします



4. ダウンロードした ファイルを保存

下部中央に表示される画面で、「実行」をクリックしてください。その後、「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



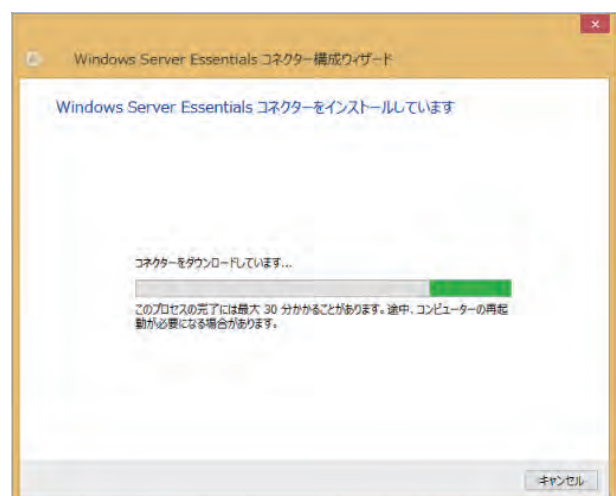
5. ライセンス条項

「ライセンス条項」画面が表示されますので、「同意する」ボックスにチェックマークを入れて、「次へ」をクリックします。



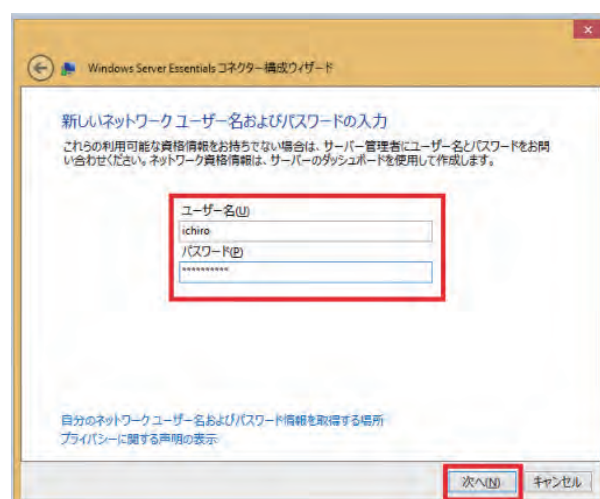
6. コネクターソフトを インストール

「Windows Server Essentials コネクターをインストールしています」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



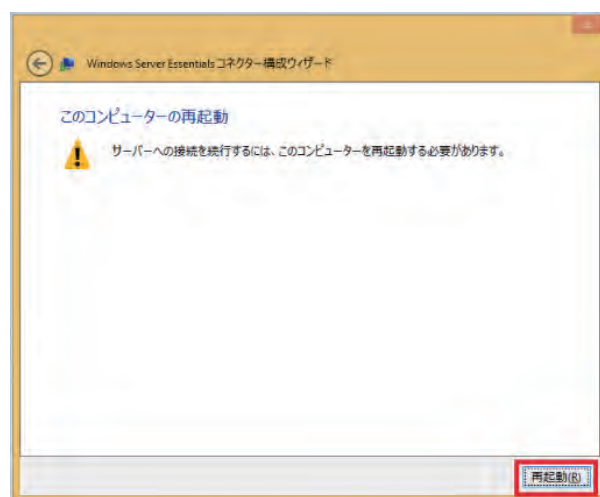
7. ユーザー名とパスワードを入力

「新しいネットワークユーザー名およびパスワードの入力」画面が表示されますので、「2-3 ユーザーアカウントの追加」step 2(p18)で作成したユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



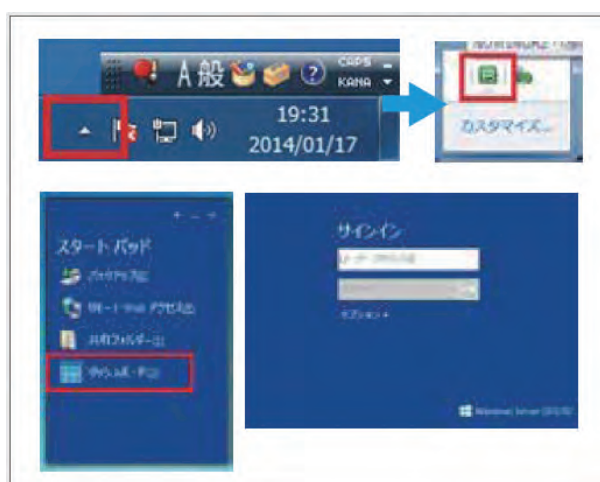
8. コンピューターの再起動

「このコンピューターの再起動」画面が表示されますので、「再起動」をクリックします。クライアントパソコンが再起動されます。



9. 再起動後

「Windows 10の場合」step 12以降の手順を行ってください。
クライアントパソコンのデスクトップに、「共有フォルダー」のアイコンが表示され、右画像の様にダッシュボードのログイン画面が表示されたら、クライアントパソコンのサーバーへの接続は完了です。



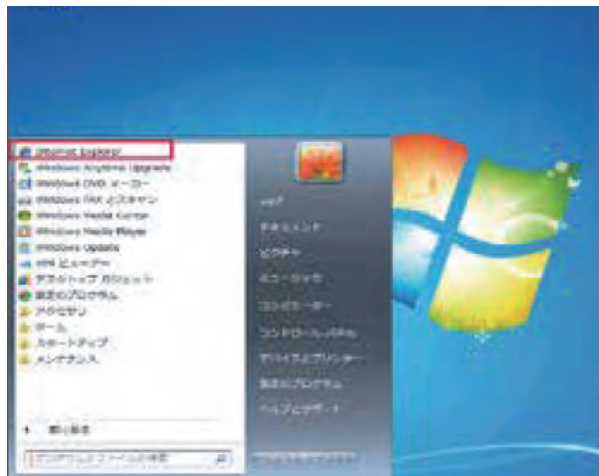
Windows 7は、すでに販売を終了した製品です。

本マニュアルでサーバーに接続する方法を紹介していますが、本OSを利用したクライアントをサーバーに接続する際のサポートは行っていません。

Windows 7 の場合

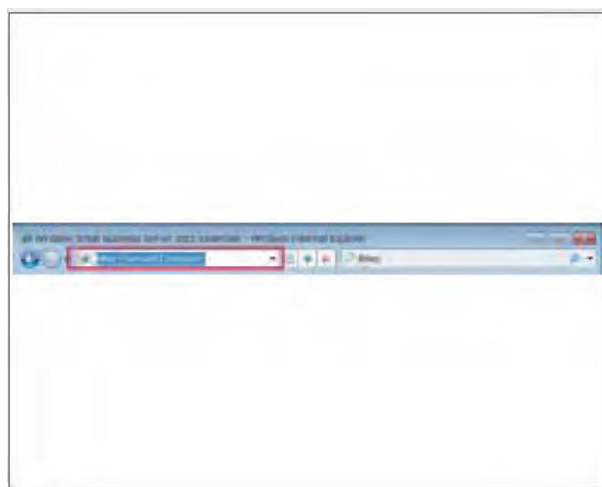
1. Internet Explorerを起動

サーバーに接続するクライアントパソコンを起動し、Internet Explorerを起動します。



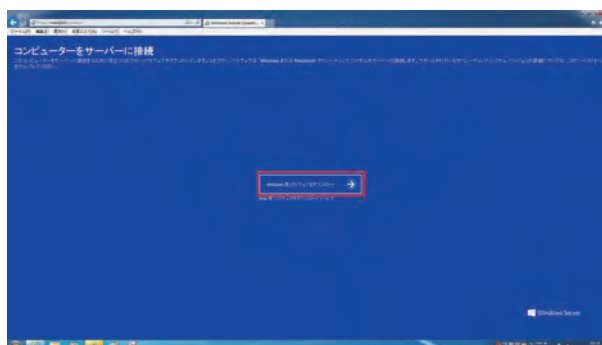
2. 接続先を入力

Internet Explorerのアドレスバーに、「2-3 ユーザーアカウントの追加」step 5 (p19) にてメモした接続先を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



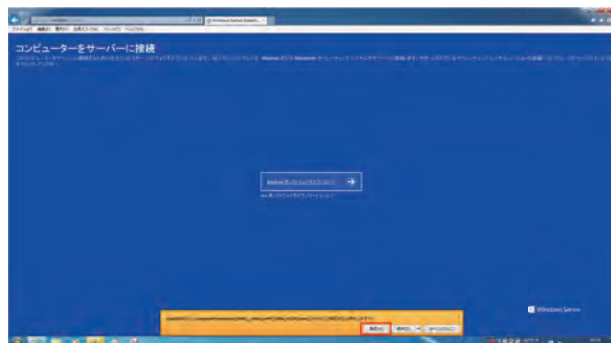
3. Windows用ソフトウェアをダウンロード

「コンピューターをサーバーに接続」画面が表示されますので、「Windows用ソフトウェアをダウンロード」をクリックします。



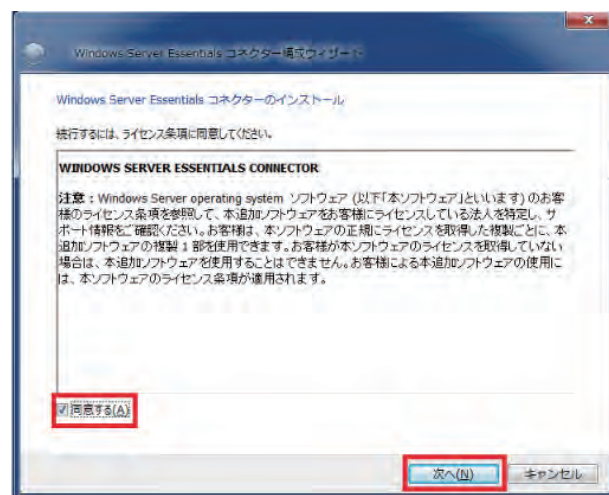
4. ダウンロードした ファイルを保存

下部中央に表示される画面で、「実行」をクリックしてください。その後、「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



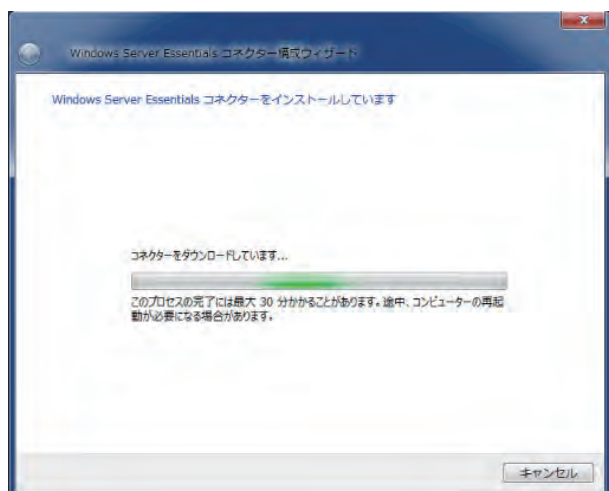
5. ライセンス条項

「ライセンス条項」画面が表示されますので、「同意する」ボックスにチェックマークを入れて、「次へ」をクリックします。



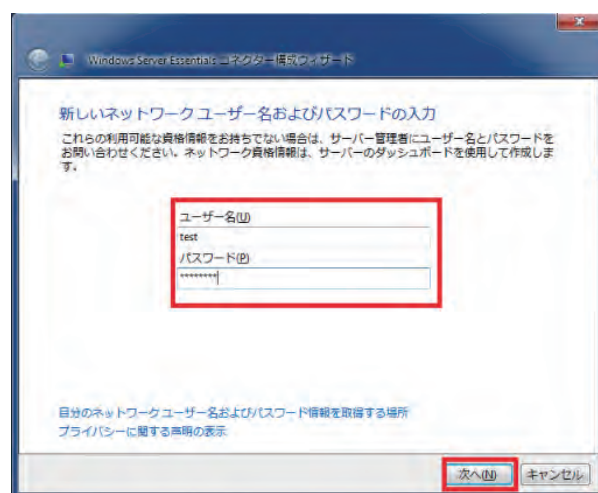
6. コネクターソフトを インストール

「Windows Server Essentials コネクターをインストールしています」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



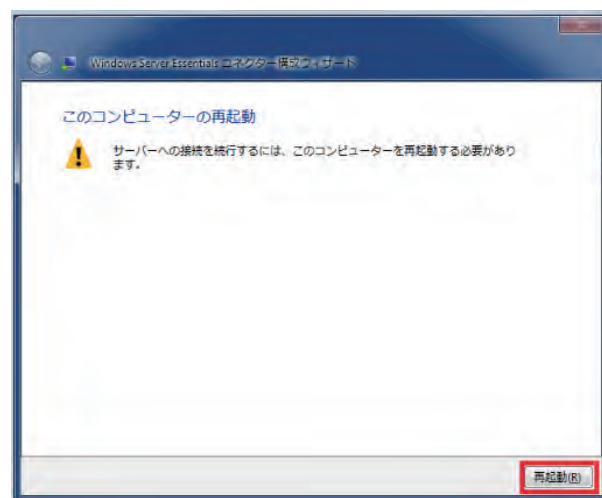
7. ユーザー名とパスワードを入力

「新しいネットワークユーザー名およびパスワードの入力」画面が表示されますので、「2-3 ユーザーアカウントの追加」step 2(p18)で作成したユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



8. コンピューターの再起動

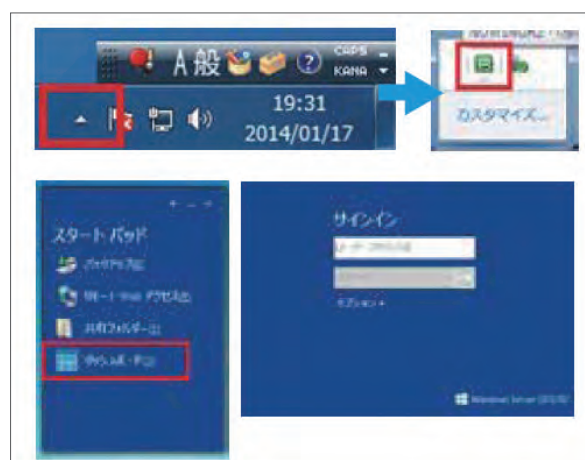
「このコンピューターの再起動」画面が表示されますので、「再起動」をクリックします。クライアントパソコンが再起動されます。



9. 再起動後

「Windows 10の場合」step 12以降の手順を行ってください。

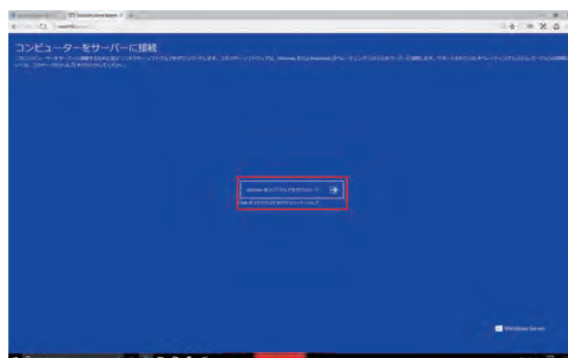
クライアントパソコンのデスクトップに、「共有フォルダー」のアイコンが表示され、右画像の様にダッシュボードのログイン画面が表示されたら、クライアントパソコンのサーバーへの接続は完了です。



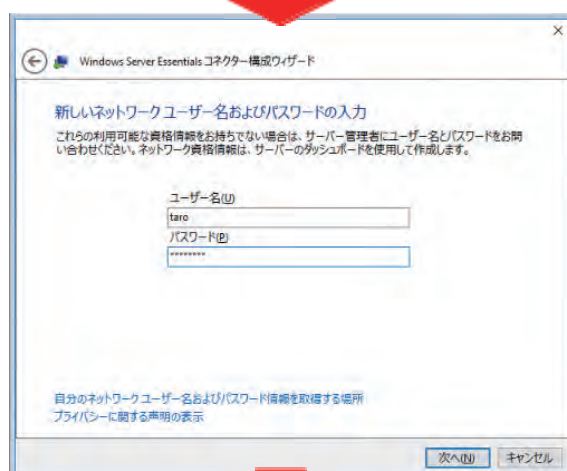
クライアントPCがサーバーに接続できない

マニュアル通りにセットアップを行っても、サーバーに接続できない場合があります。

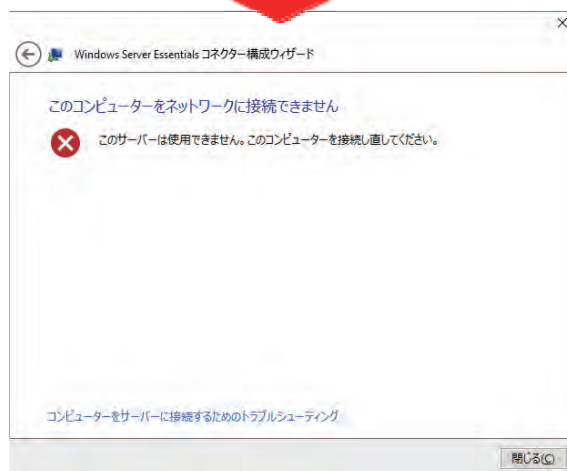
コンピューターを
サーバーに接続



新しいネットワークユーザー名
およびパスワードを入力



このコンピューターを
ネットワークに接続できません



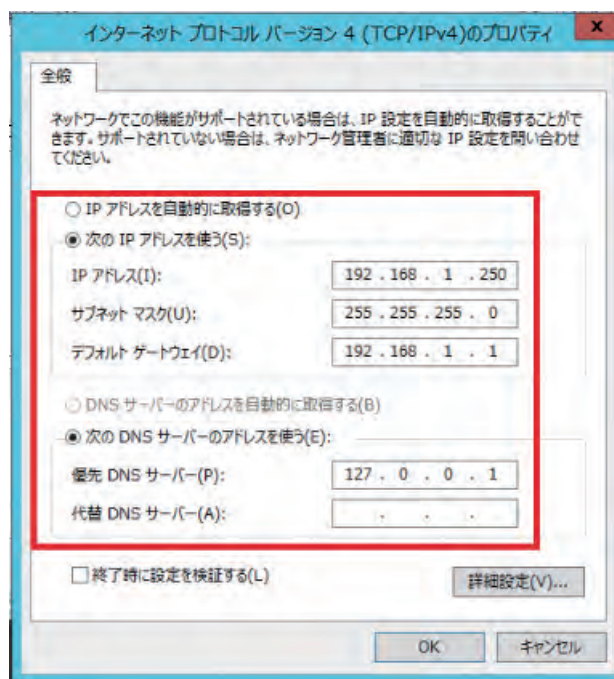
「クライアントPCがサーバーに接続できない」対策

以下に示す手順で、サーバーIPをクライアント側の優先DNSサーバーに設定することで正しく動作することが確認されています。

サーバー本体

A. サーバーIPを固定IPに変更

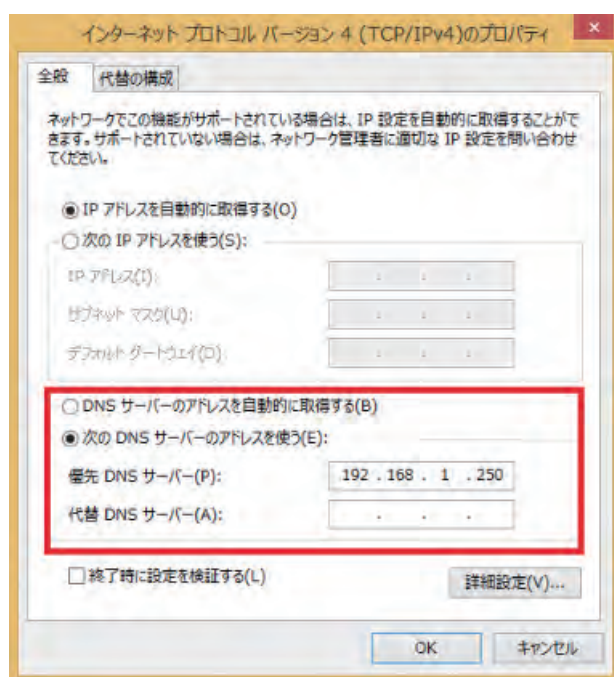
サーバーのIPアドレスを固定IPにします。サーバーの優先DNSのIPアドレスをループバック (127.0.0.1) に設定します。



クライアント

B. クライアント側の優先DNSサーバーをサーバーIPに設定

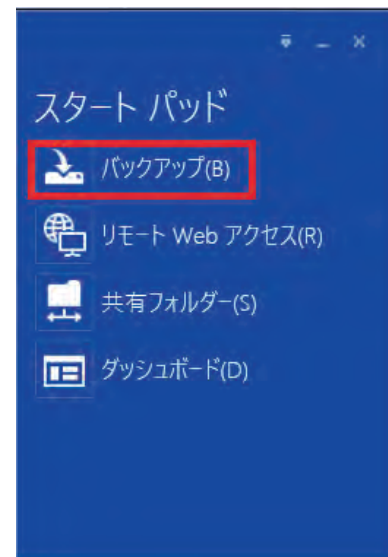
接続するクライアント側の優先DNSサーバーを自動から「step A」で設定したIPアドレスに変更後、本章のstep 1からの手順を行う。



2-8-2. クライアントの復元用ドライバーの取得

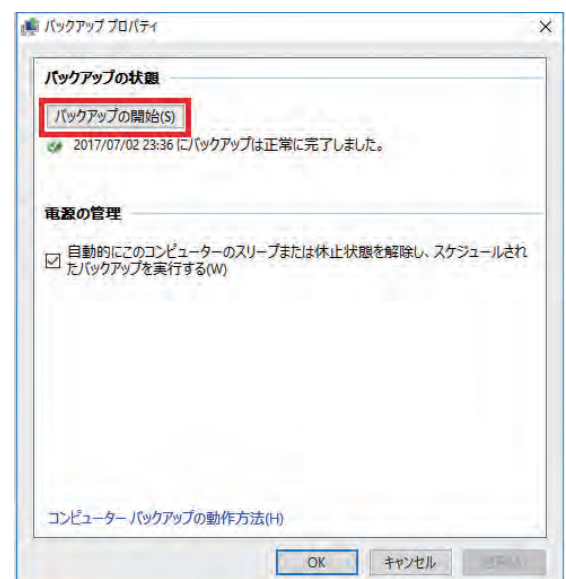
1. バックアップを選択

「スタートパッド画面」が表示されていますので、「バックアップをクリックします。



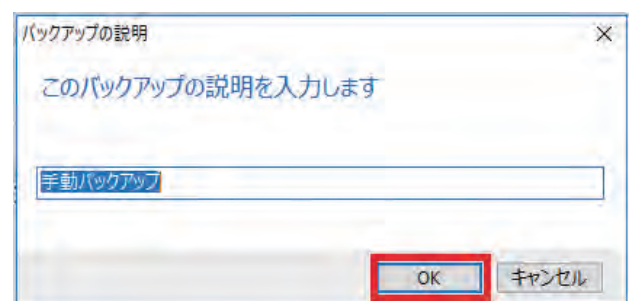
2. バックアップの開始

「バックアップ プロパティ」画面が表示されますので、「バックアップの開始」をクリックします。



3. バックアップの説明を入力

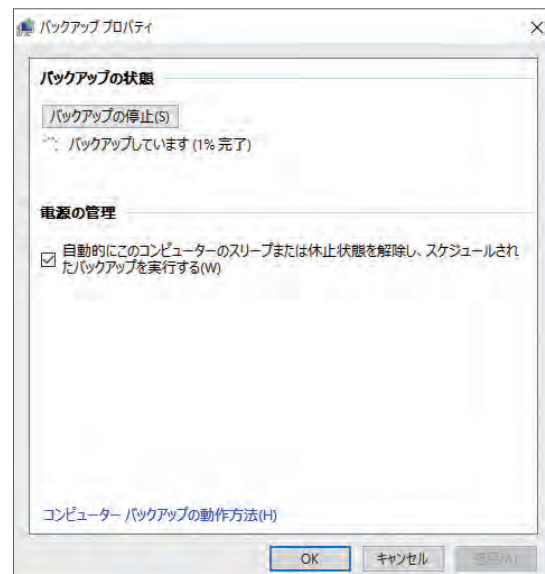
「バックアップの説明」画面が表示されますので、任意の説明を入力し、「OK」をクリックします。



※特に指定がなければ初期値の「手動バックアップ」でかまいません。バックアップ完了までの時間はパソコンの性能と使用容量により異なります。

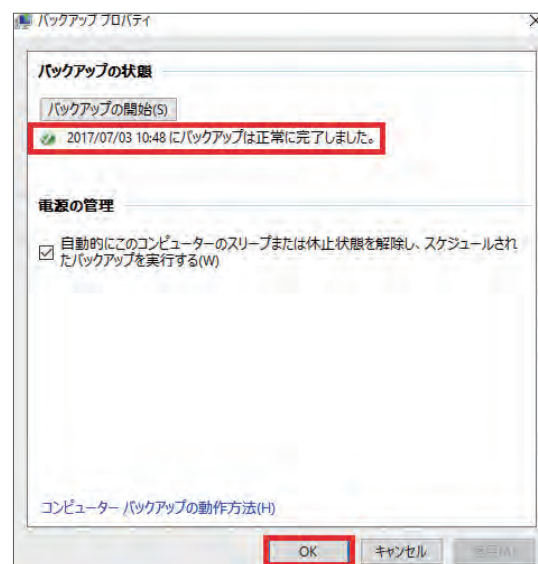
4. バックアップの開始

バックアップが開始されますので、バックアップが完了するまで待ちます。



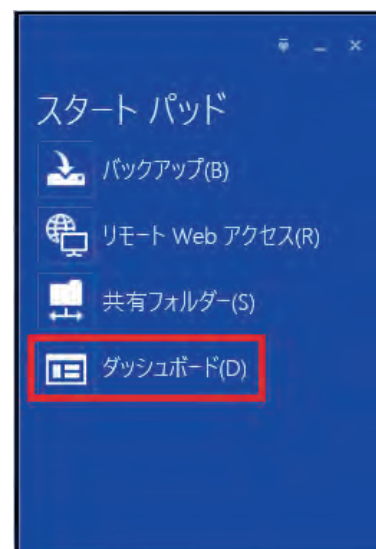
5. バックアップの完了

バックアップが完了し、チェックマークの背景が緑になっていることを確認し、「OK」をクリックします。



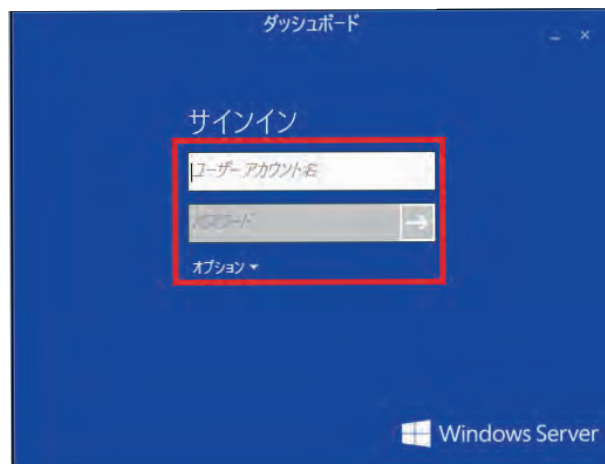
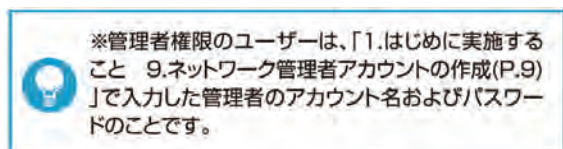
6. ダッシュボードをクリック

「スタートパッド」画面で「ダッシュボード」をクリックします。



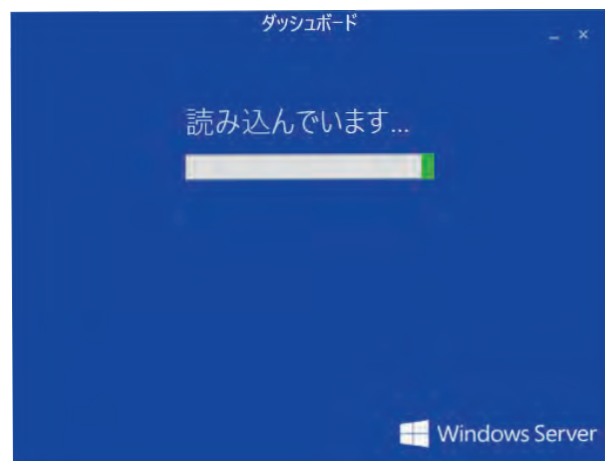
7. 管理者権限の情報を入力

「ダッシュボード」画面が表示されますので、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力して、矢印をクリックします。



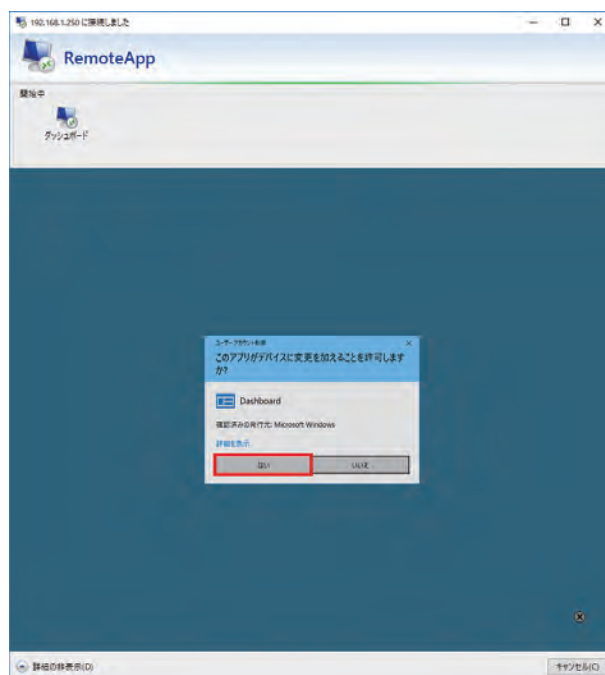
8. 読み込んでいます

「読み込んでいます」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



9. ユーザーアカウント制御

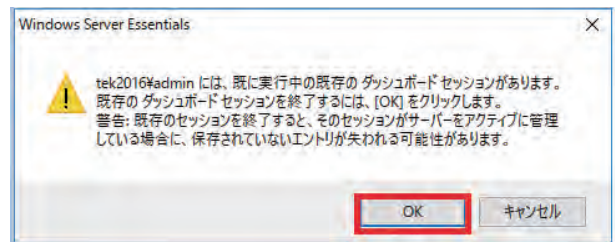
「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「はい」をクリックします。



10. 警告画面が表示された場合

「警告」画面が表示される場合は、「OK」をクリックしてください。

※ダッシュボード画面は複数同時に起動できません。サーバーやその他のクライアント PC でダッシュボードを表示している場合に警告が表示されます。



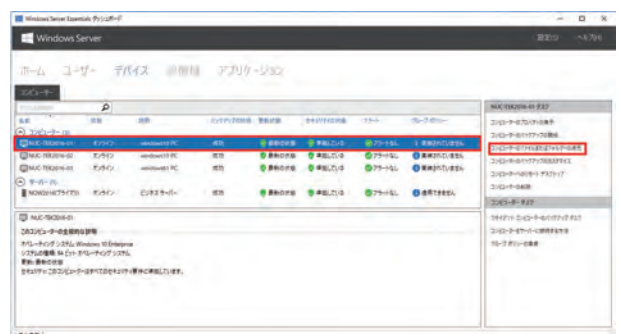
11. デバイスをクリック

「ダッシュボード」画面が表示されますので、「デバイス」を選択します。



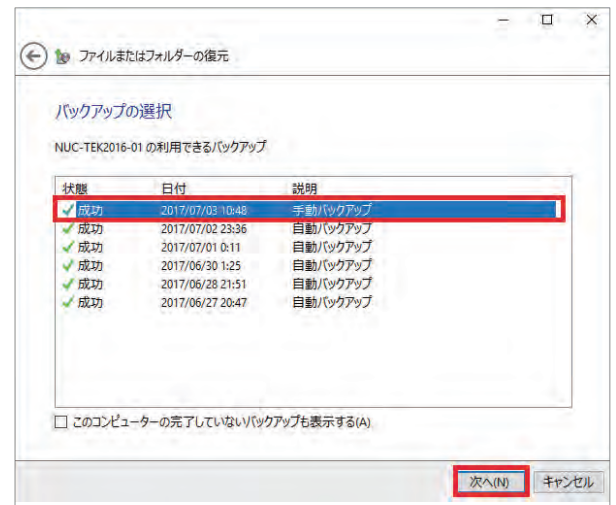
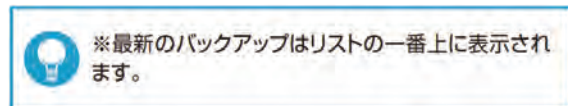
12. コンピューターのファイルまたはフォルダーの復元をクリック

現在作業しているコンピューターを選択して、「コンピューターのファイルまたはフォルダーの復元」をクリックします。



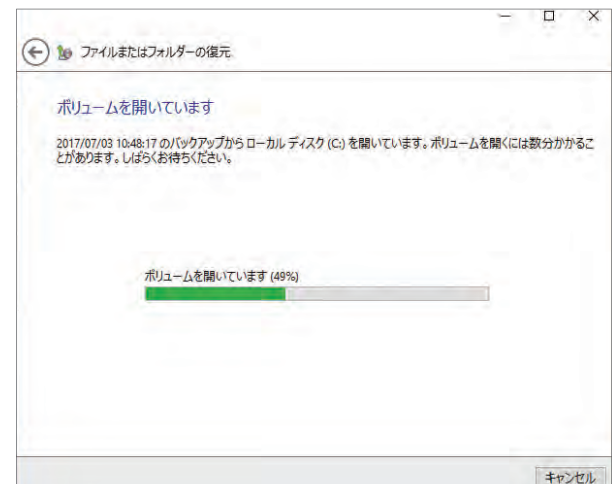
13. 最新のバックアップを選択

「バックアップの選択」画面が表示されますので、最新のバックアップを選択し、「次へ」をクリックします。



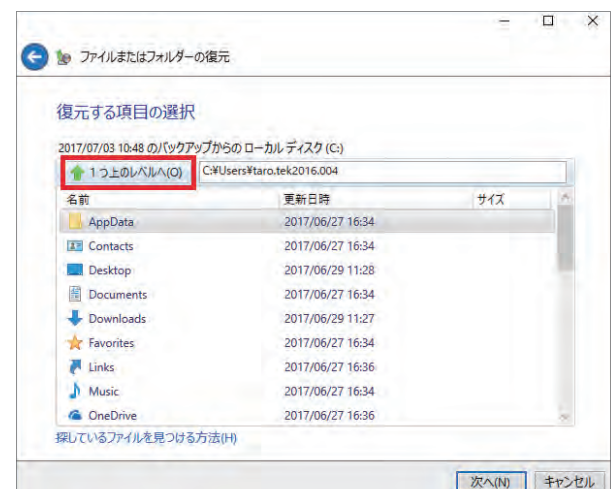
14. ボリュームを開いています

「ボリュームを開いています」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



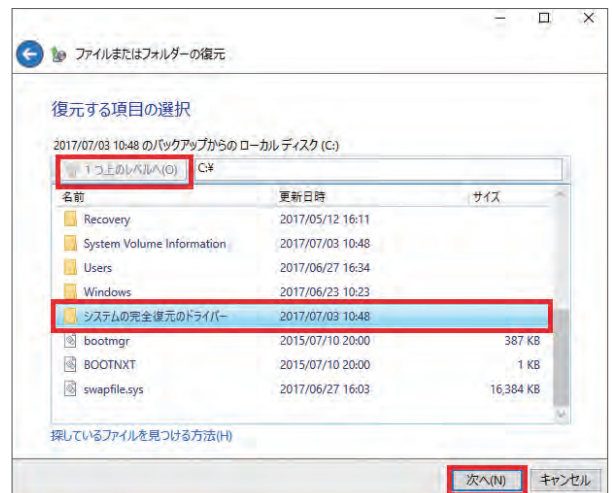
15. 復元する項目を選択

「復元する項目の選択」画面が表示されるので、ルートフォルダー (c:¥) へ移動するために、「1つ上のレベルへ(O)」をクリックします。



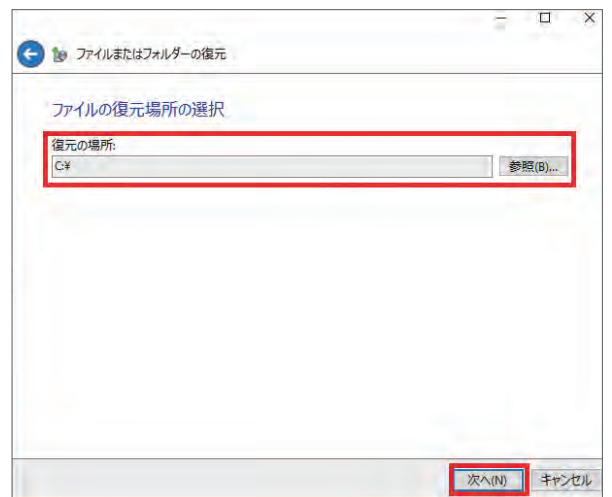
16. 「システムの復元完全のドライバー

「1つ上のレベル」がグレーであることを確認します。「システムの復元完全のドライバー」を選択し、「次へ」をクリックします。



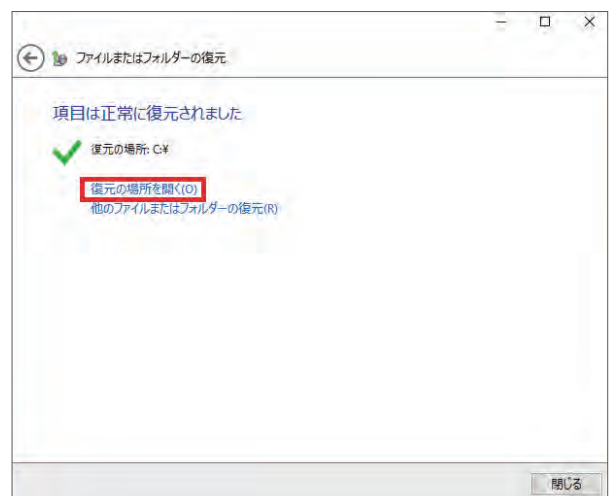
17. ファイルの復元場所の選択

「ファイルの復元場所の選択」画面が表示されますので、復元場所が「c:\」になっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。ファイルのコピーが実施されます。



18. USBメモリーに「システムの完全復元のドライバー」をコピー

「項目は正常に復元されました」画面が表示されますので、「復元場所を開く」をクリックします。



19. USBメモリーに保存

エクスプローラーに表示される「システムの完全復元のドライバー」をUSBメモリーにコピーします。USBメモリーへのコピーが完了したら、クライアントのセットアップは終了です。「2-7」で使用するUSBメモリーに保存しておくくと便利です。

ローカル ディスク (C:) >			
名前	更新日時	種類	サイズ
Intel	2017/05/25 15:11	ファイル フォルダー	
PerfLogs	2017/03/19 6:03	ファイル フォルダー	
Program Files	2017/06/09 10:41	ファイル フォルダー	
Program Files (x86)	2017/06/09 10:41	ファイル フォルダー	
Windows	2017/06/14 8:37	ファイル フォルダー	
システムの完全復元のドライバー	2017/07/07 14:19	ファイル フォルダー	
ユーザー	2017/06/28 8:55	ファイル フォルダー	



※ここでコピーした「システムの完全復元のドライバー」ファイルは、クライアントコンピューターが起動しなくなった際に、復元するために必要になりますので、大切に保管してください。

3. 問題が発生した場合のリストア手順

本章では、Windows Server 2016 Essentials のリストア（復元）について説明します。

ここでは、問題が発生した場合にサーバーやクライアント全体を復元する方法（ベアメタル回復）を以下の項目について紹介します。

3-1. サーバーのリストア（復元）手順

3-2. クライアントのリストア（復元）手順

3-1. 問題が発生した場合のサーバーのリストア(復元)手順

サーバーに障害が発生した場合のリストア(復元)手順を記載しています。障害発生時に本マニュアルの手順にてリストアを行うことにより、サーバーを最後にバックアップされた時点にリストアすることができます。

サーバーをリストアする際の諸注意

※サーバーをリストアすると、外付けハードディスクとで取得しているバックアップ状態まで復元できます。バックアップデータは最新状態ではない可能性があります。

※バックアップ時点以降に作成されたデータが消えてしまう可能性がありますので、ご注意ください。

※本作業はお客様が作成されたデータを保証するものではありません。

用意するもの

- ・Windows Sever 2016 Essentials サーバインストールDVD
- ・USB外付けハードディスクまたはバックアップを保存しているディスクやメディア
- ・USB接続の外付け光学ドライブ

3-1. 問題が発生した場合のサーバーのリストア(復元)手順

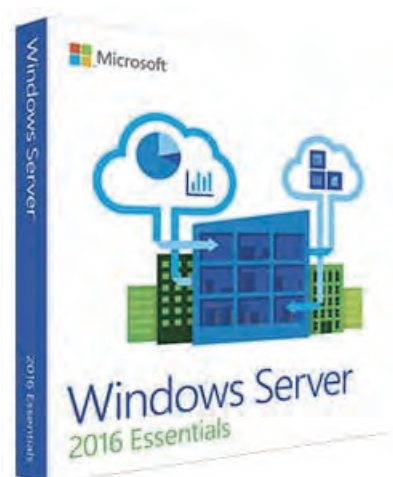
1. 外付けメディアの接続を確認

サーバー本体にUSB外付けハードディスクやバックアップを保存しているディスクやメディアが接続されていることを確認します。接続されていない場合は接続してください。



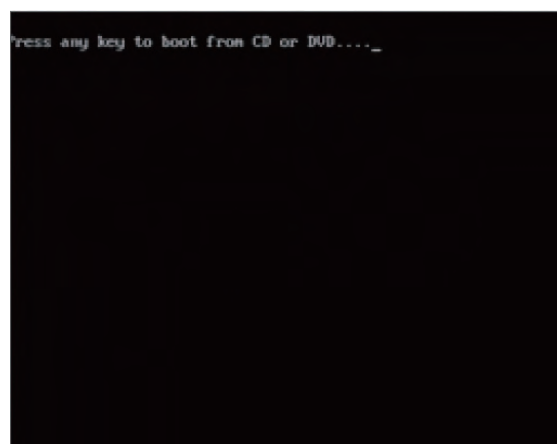
2. DVDディスクをサーバーの光学ドライブにセット

サーバー本体に同梱されていたDVDケース内にある「Windows Server 2016 Essentials サーバーインストールDVD」のディスクをサーバーの光学ドライブにセットします。



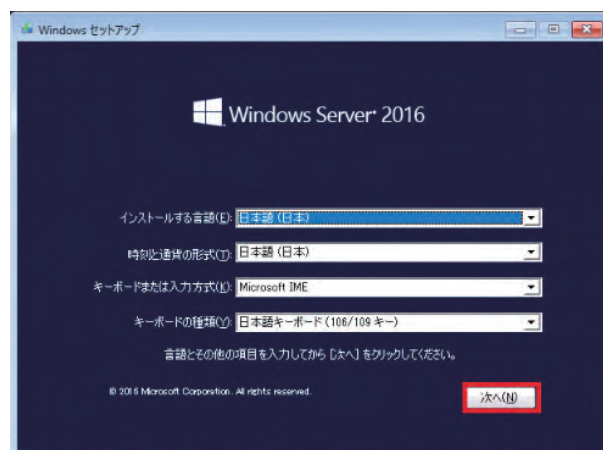
3. 光学ドライブ(DVD)から起動

右図のように「Press any key to boot from CD or DVD....」と表示されたらキーボードの「Enter」キーを押してください。



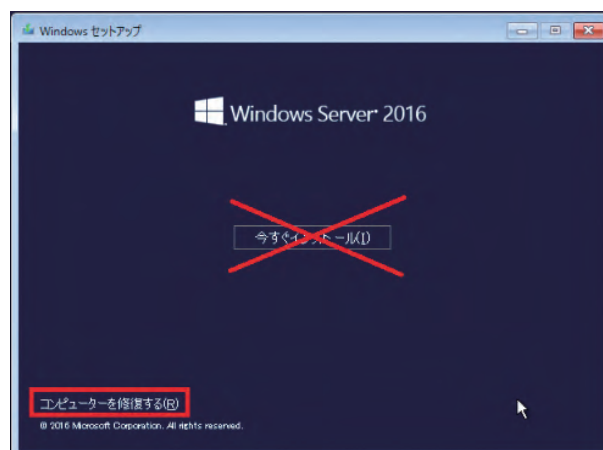
4. Windows セットアップ

「Windows セットアップ」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



5. 左下の「コンピューターを修復する」をクリック

インストール画面が表示されますので、左下の「コンピューターを修復する」をクリックします。「今すぐインストール」はクリックしないでください。



6. トラブルシューティングをクリック

「オプションの選択」画面が表示されますので、「トラブルシューティング」をクリックします。



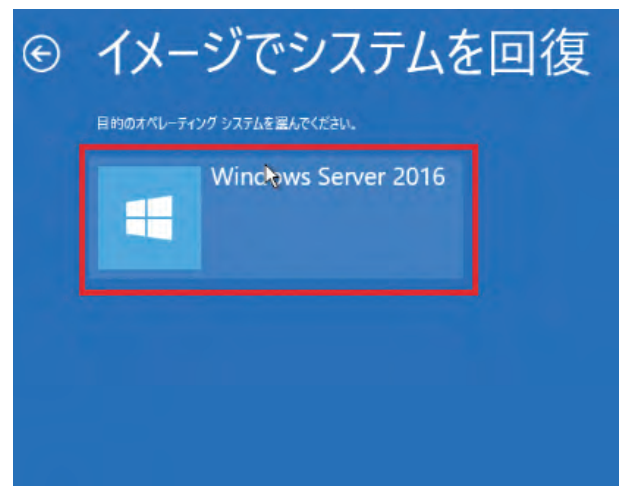
7. イメージでシステムを回復をクリック

「詳細オプション」画面が表示されますので、「イメージでシステムを回復」をクリックします。



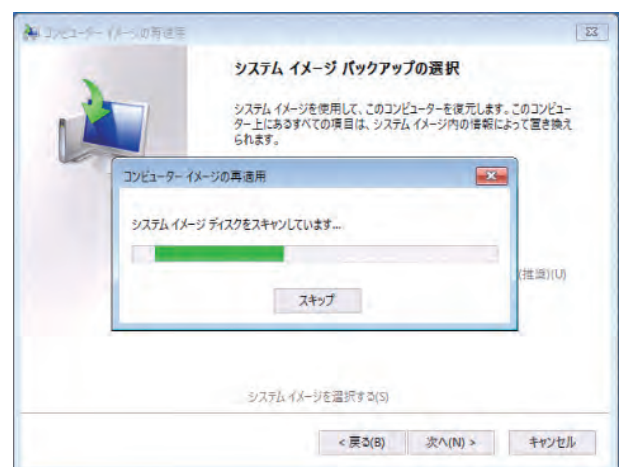
8. Windows Server 2016 をクリック

「イメージでシステムを回復」画面が表示されますので、「Windows Server 2016」をクリックします。



9. コンピューターイメージの再適用

「システムイメージディスクをスキャンしています」画面が表示されますので、しばらく待ちます。

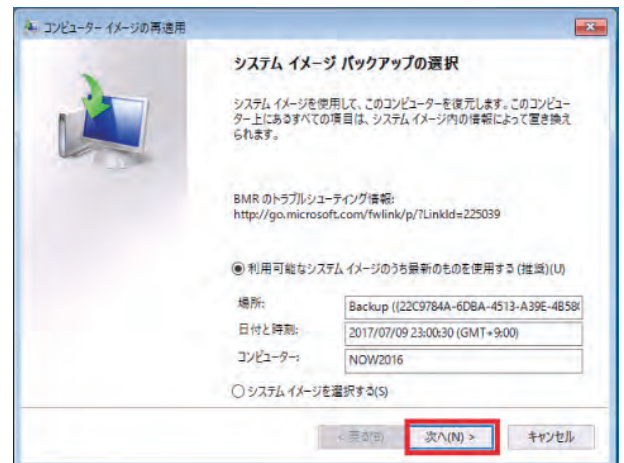


10. システムイメージ バックアップの選択

「システムイメージバックアップの選択」画面が表示されますので、「利用可能なシステムイメージのうち最新のものを使用する」を選択して「次へ」をクリックします。

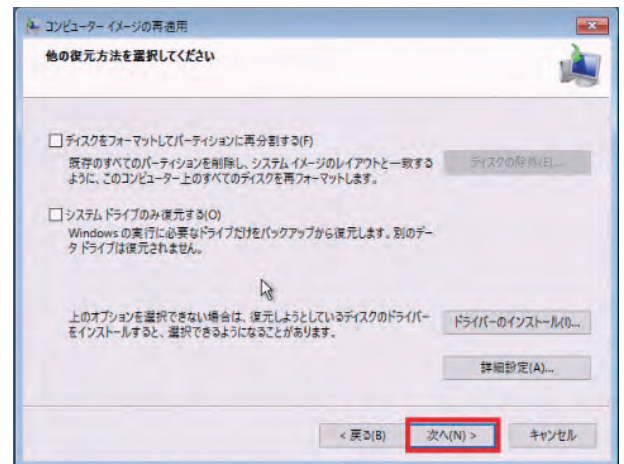


※ここで最新のものをを使用することを推奨します。最新のバックアップで復元できない場合は、より過去のバックアップから復元することで、修復できる場合があります。



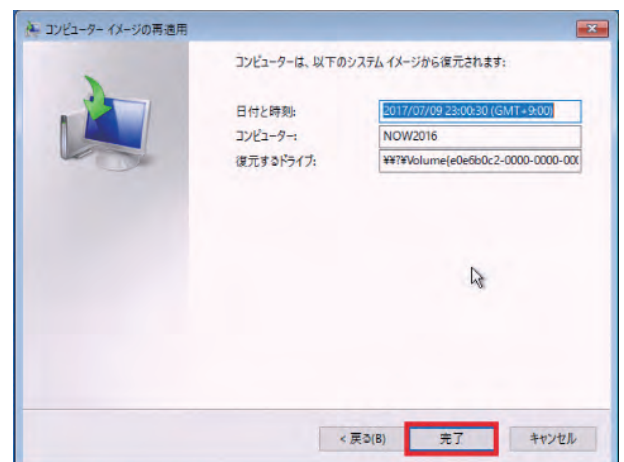
11. 次へ をクリック

「他の復元方法を選択してください」画面が表示されますので、そのまま「次へ」をクリックしてください。



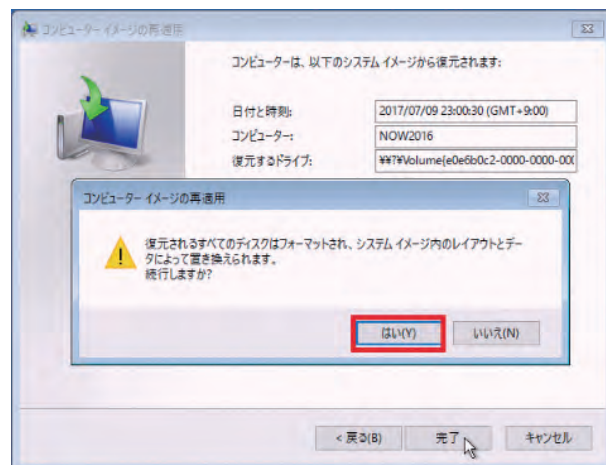
12. 完了をクリック

確認画面が表示されますので、「完了」をクリックします。



13. コンピューターのイメージの再適用

確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

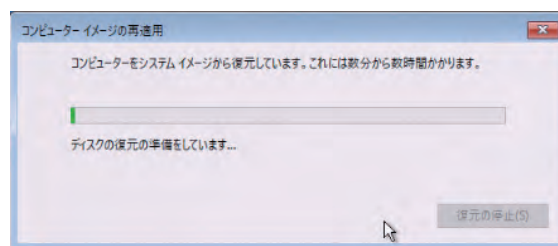


14. リストア(復元)の開始

リストア(復元)が開始されます。

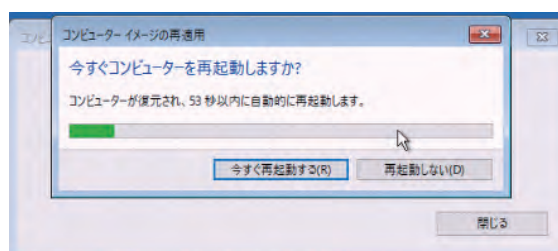


※復元には、数十分から数時間かかる場合があります。復元が完了するまで電源を切らないでください。



15. サーバーの再起動

リストアが完了すると、自動的にサーバーが再起動します。



16. リストアの完了

再起動したら、使用した「Windows Server 2016 Essentials サーバーインストール DVD」ディスクを取り出してください。以上でリストアが完了します。



3-2. 問題が発生した場合のクライアントのリストア(復元)手順

本章では2-8のクライアントのセットアップ手順を実施したクライアントパソコンにおいて障害が発生した場合のリストア(復元)手順を記載しています。障害発生時に本マニュアルの手順にてリストアを行うことにより、最終バックアップされた時点にリストアすることができます。

クライアントリストアする際の諸注意

※クライアントでは、サーバー側で取得しているバックアップ時点まで復元できます。最新の状況ではない可能性がありますのでご注意ください

※クライアントの最終バックアップ後に作成されたデータが消えてしまう可能性がありますので、ご注意ください

※コンピューターをリストアする場合は、必ず有線LAN接続で行ってください。

※2-6クライアント復元サービスのセットアップの実施、2-8-2の復元用ドライバーのUSBメモリ2-7で回復キーを保有したUSBメモリーが必要です

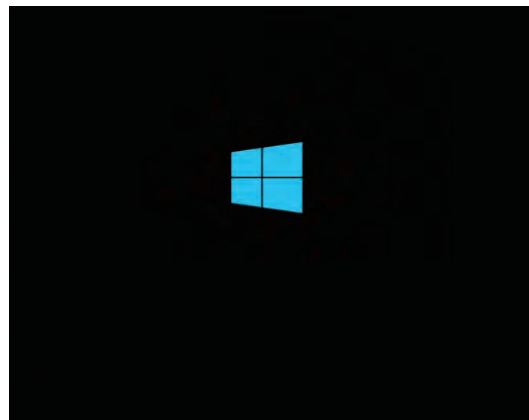
用意するもの

- ・2-7で回復キーを保存したUSBメモリ
- ・復元用ドライバーが保存されたUSBメモリ

3-2. 問題が発生した場合のクライアントのリストア(復元)手順

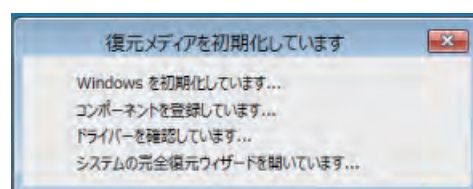
1. 回復キーを保存したUSBメモリーを復元したいクライアントにセット

「2-7」で回復キーを保存したUSBメモリーを復元したいクライアントパソコンのUSBポートにセットし、電源を投入します。ロゴが表示されたらしばらく待ちます。



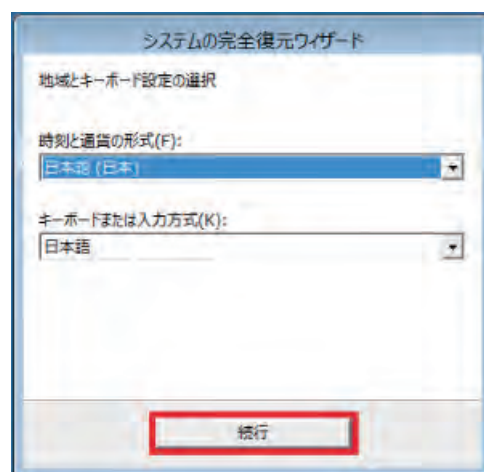
2. 復元メディアを初期化しています

「復元メディアを初期化しています」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



3. 地域とキーボード設定の選択

「復元メディアを初期化しています」画面が表示されるので、しばらく待ちます。



3-1. エラー表示

Step3で、「続行」をクリック後に右のような「ネットワークドライバが見つけれない」旨のメッセージが表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。



4. ドライバーの読み込み

「システムの完全復元ウィザードへ ようこそ」画面が表示されますので、「ドライバーの読み込み」をクリックします。

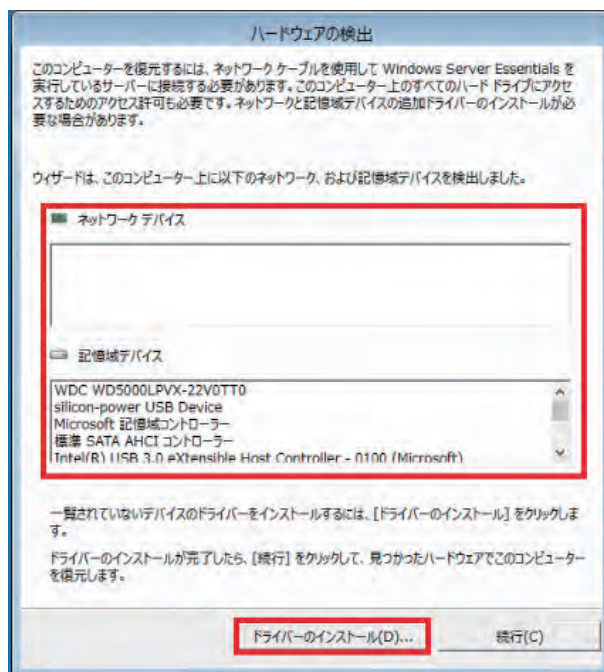


※このまま[続行]をクリックしてもリストアできる場合もありますが、ネットワークドライバの確認を行うため、[ドライバーの読み込み]をクリックします。



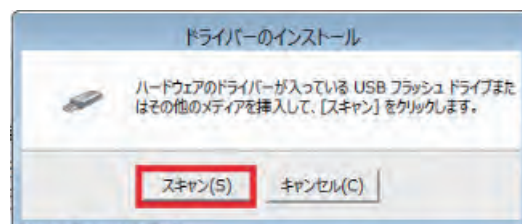
5. ハードウェアの検出

「ハードウェアの検出画面」が表示されますので、「ネットワークデバイス」と「記憶域デバイス」にドライバーが表示されているかを確認します。ドライバーが何も表示されていない、もしくは、片方のみ表示されている場合は、「2-8-2」で取得した「復元用ドライバー」のUSBメモリーを接続し、「ドライバーのインストール」をクリックします。



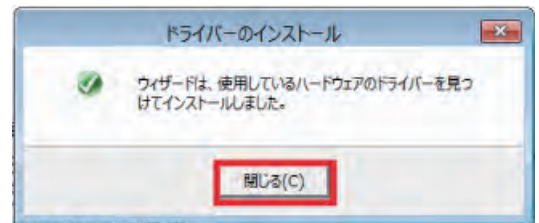
6-1. ドライバーのインストール

「ドライバーのインストール」画面が表示されますので、「スキャン」をクリックします。



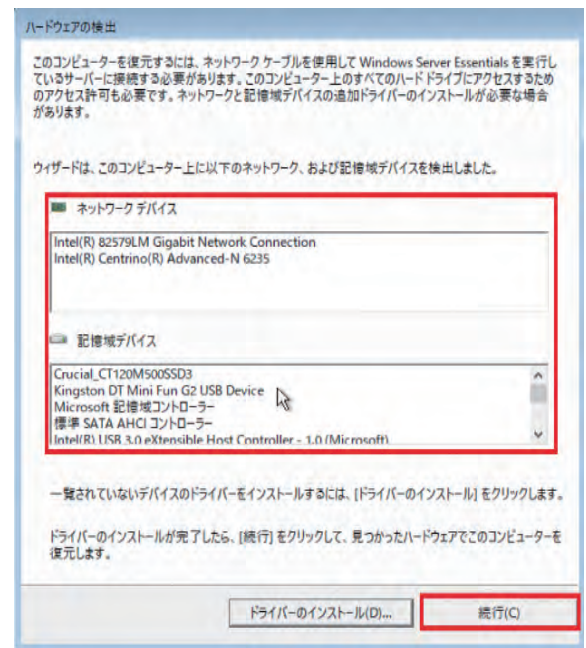
6-2. ドライバーのインストール

ドライバーの読み込みが行われます。
「ウィザードは、使用しているハードウェアのドライバーを見つけてインストールしました」画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



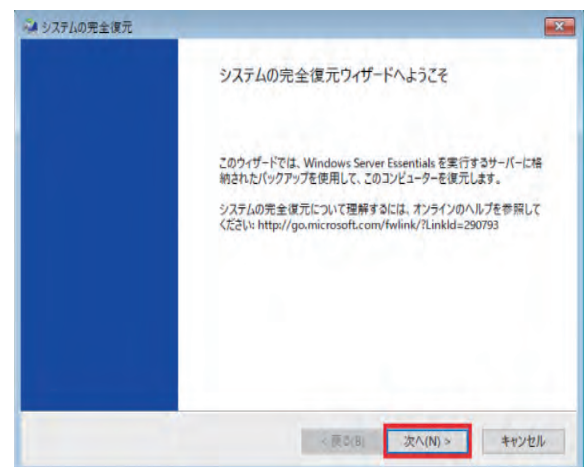
7. ハードウェアの検出

「ハードウェアの検出」画面に戻りますので、「続行」をクリックします。



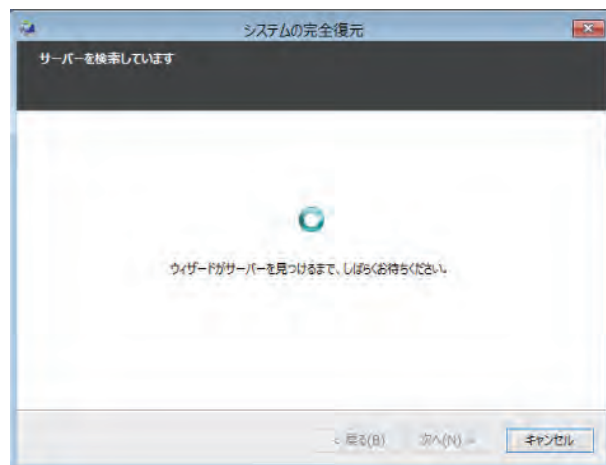
8. システムの完全復元を開始

「システムの完全復元ウィザードへ ようこそ」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



9. サーバーの検索

「サーバーを検索しています」画面が表示されますので、しばらく待ちます。



10. サーバーが見つかりました

「サーバーが見つかりました」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。

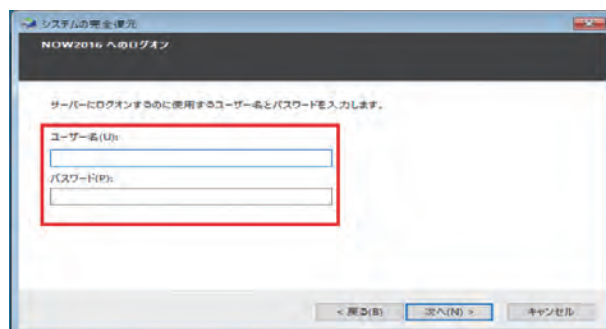
「複数のサーバーが見つかりました」画面が表示される場合は、バックアップを含むサーバーを選択して「次へ」をクリックします。

サーバーが見つからない場合は、「サーバーを手動で検索する」を選択し、バックアップを含むサーバーの「IPアドレス」を入力して「次へ」をクリックします。



11-1. サーバーへのログオン

「サーバーへのログオン」画面が表示されます。



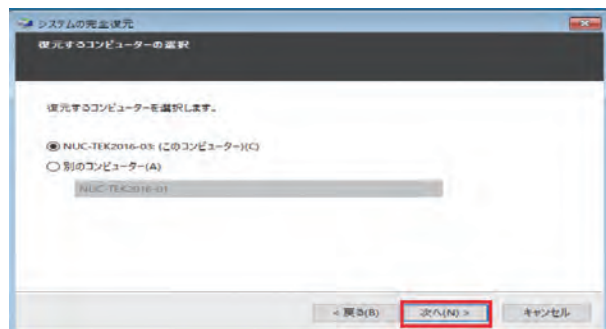
11-2. サーバーへのログオン

管理者のドメインとユーザー名およびパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



12-1. 復元するコンピューター の選択

「復元するコンピューターを選択します」画面が表示されますので、「次へ」を選択します。



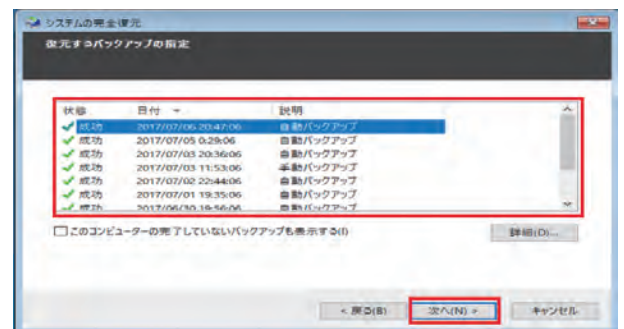
12-2. 復元するコンピューターを選択

別のコンピューターを復元する場合は、「別のコンピューター」を選択し、ピックリストから復元するコンピューターを選び、「次へ」をクリックします。



13. 復元するバックアップの指定

「復元するバックアップの指定」画面が表示されますので、どのタイミングのバックアップを復元するのを選択し、「次へ」をクリックします。



14. 復元オプションの選択

「復元オプションの選択」画面が表示されますので、「ウィザードでコンピューターを完全に復元する」を選択し、「次へ」をクリックします。



15. 復元するディスクの確認

「復元するディスクの確認」画面が表示されますので、内容を確認し問題なければ「次へ」をクリックします。



エラーがでたらp71のトラブルシューティングを参照



16. 復元作業を開始

復元作業が開始されますので、復元完了まで電源を切らずにそのままお待ちください。

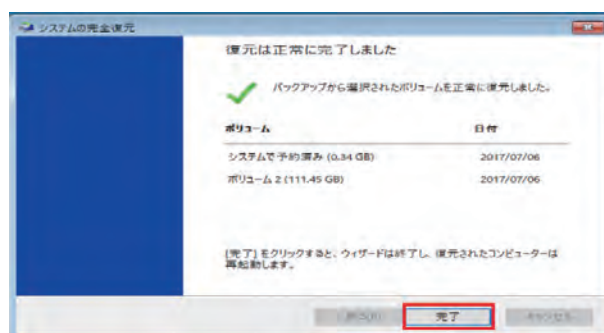
※ このステップで、「現時点ではこの作業を完了できません」画面が表示されることがあります。その場合は、step15-1に進んでください。



17. コンピューターの復元を完了

「復元は正常に完了しました」画面が表示されますので、「完了」をクリックします。接続していた回復キーが保存されているUSBメモリーは、再起動前に外します。

これでコンピューターの復元は完了です。再起動後、復元したクライアントパソコンが使用できます。

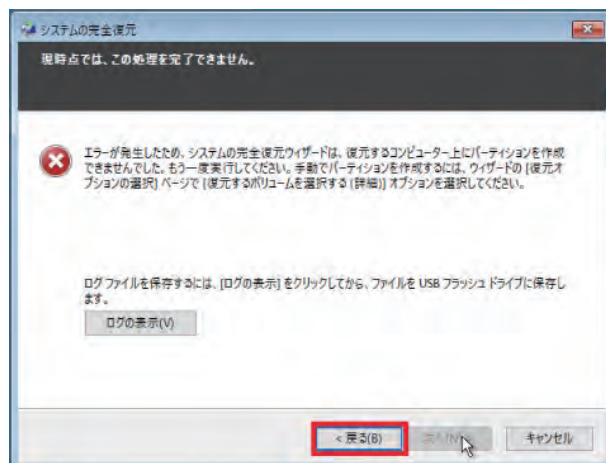


「Step15の後にエラー」が出た場合の対策

現時点では、この作業を完了できません」のエラーが表示された場合は、以下に示す手順で、正しく動作する事が確認されています。

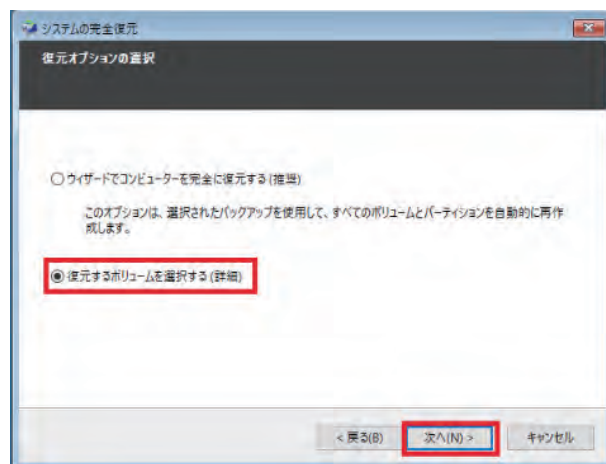
1. Step 15の後にエラー

「現時点では、この作業を完了できません」画面が表示されたら、「戻る」をクリックして、P69 step14で表示された「復元オプションの選択」画面まで戻ります。



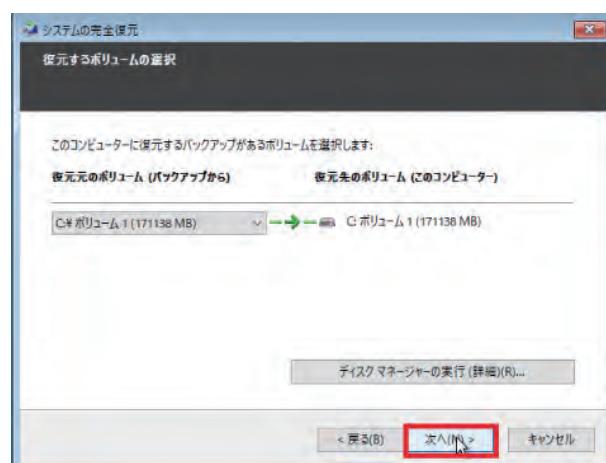
2. 復元オプションの選択

Step 14の「復元オプションの選択」画面まで戻ったら、今度は、「復元するボリュームを選択する」の方を選択し、「次へ」をクリックします。



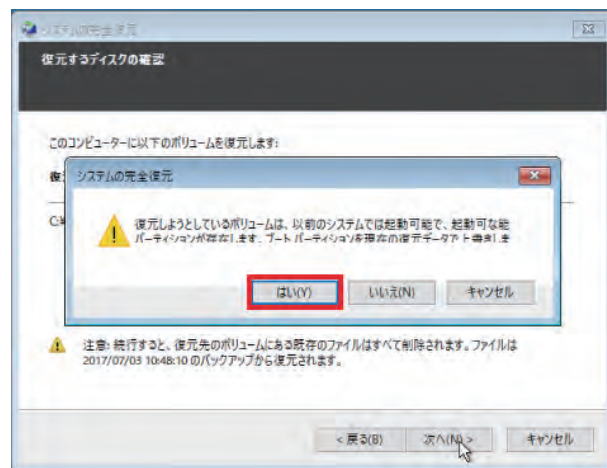
3. 復元するボリュームの選択

「復元するボリュームの選択」画面が表示されますので、内容を確認し問題なければ「次へ」をクリックします。



4. 復元するディスクの確認

以前のシステムで起動可能な旨のメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。



5. 復元作業を開始

復元作業が開始されますので、復元完了まで電源を切らずにそのままお待ちください。



6. コンピューターの復元を完了

「復元は正常に完了しました」画面が表示されますので、「完了」をクリックします。接続していた回復キーが保存されているUSBメモリーは、再起動前に外します。

これでコンピューターの復元は完了です。再起動後、復元したクライアントパソコンが使用できます。



4. Anywhere Accessのセットアップ

AnywhereAccessを設定すると、社外からインターネット経由でサーバーの共有フォルダーやオフィスにあるPCのデスクトップへアクセスが可能になります。例えば、ユーザーは出張先からインターネットに接続したPCで本サーバーの共有フォルダーにあるビジネスデータを取り出したり、オフィスにあるクライアントPCをリモート操作することが可能です。

セットアップの流れ

STEP
1

ルーターを設定、確認します。

ルーターで「ポート80(HTTP)」、「ポート443(HTTPS)」のポートをサーバーへ転送するように構成します。

STEP
2

ドメイン名の登録をします。

ドメイン名を取得し、ルーターのIPアドレスとドメイン名をDNSサービスへ登録します。

STEP
3

AnywhereAccess(リモートWebアクセス)のセットアップをします。

リモートPCからインターネット経由でサーバーの共有フォルダーやオフィスにあるPCのデスクトップへアクセスするための設定を行います。

STEP
4

ユーザーのAnywhereAccessのアクセス許可・拒否を設定します。

利用するユーザーアカウントで利用できるAnywhere Accessのサービスや利用許可するフォルダなどのアクセス権限を設定します。

STEP
1

ルーターを設定、確認します。

●AnywhereAccess(リモートWebアクセス)を実現するには、ルーターで、次のポートをサーバーへ転送するように構成しておく必要があります(ポートフォワード)。

・ポート80(HTTP) ・ポート443(HTTPS)

●このポートフォワードの構成は、ルーターがUPnP(Universal Plug and Play)に対応している場合、リモートWebアクセスを有効にすることで、自動的におこなわれます。UPnPに対応していないルーターでは、手動で構成する必要があります。

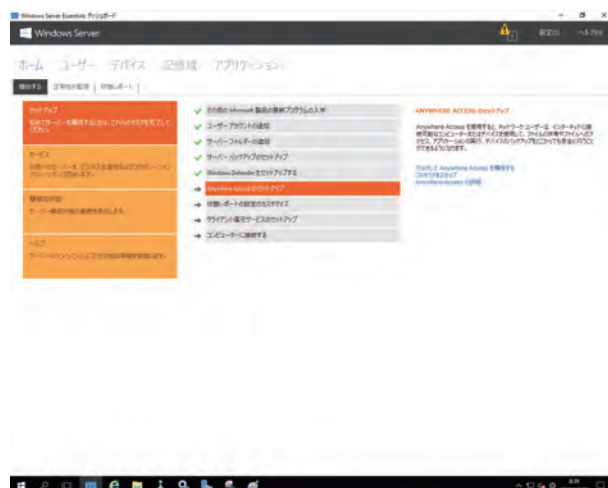
●ルーターの設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書をご確認ください。

STEP 2

ドメイン名の登録をします。(ドメインを取得されていない場合のみ行います。)

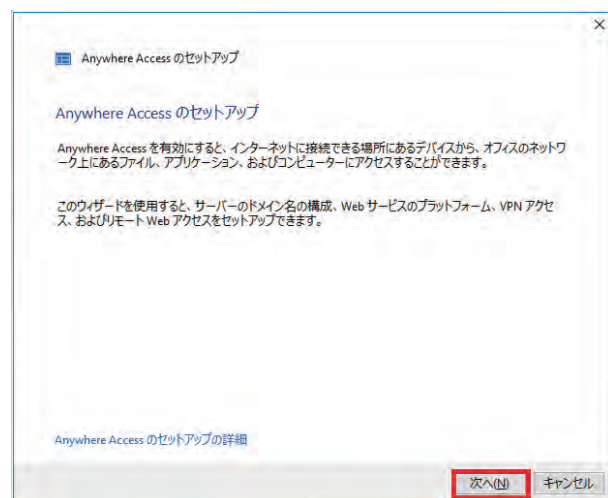
1. Anywhere Accessを セットアップする

「開始する」タブのセットアップで、「Anywhere Access をセットアップ」を選択し、右側のタスクメニューから[クリックしてAnywhere Access を構成します]をクリックします。



2. Anywhere Accessの セットアップ

「Anywhere Access のセットアップ」画面がされますので、[次へ]をクリックします。



3. ドメイン名の セットアップを開始

「ドメインのセットアップ」の「作業開始」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



4. ドメインを所有していますか？

「ドメイン名を所有していますか？」画面が表示されます。新しいドメイン名を取得するには、[新しいドメイン名をセットアップする]を選択し、[次へ]をクリックします。



※既に所有しているドメイン名を使用する場合は、STEP10に進んでください

5. 新しいドメインのセットアップ

「新しいドメインのセットアップ」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。

6. 「Microsoft アカウントでサインイン」

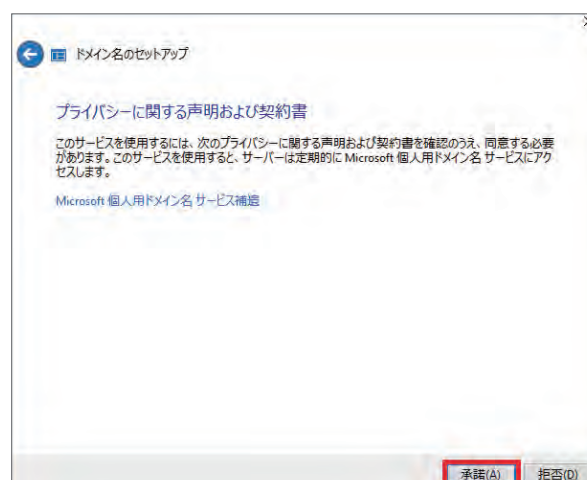
「Microsoft アカウントでサインイン」画面が表示されます。Microsoft アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。



※表示される画像が右と異なる場合があります。その場合は、ユーザー名入力後に[次へ]をクリックし、その後、パスワードを入力してください。

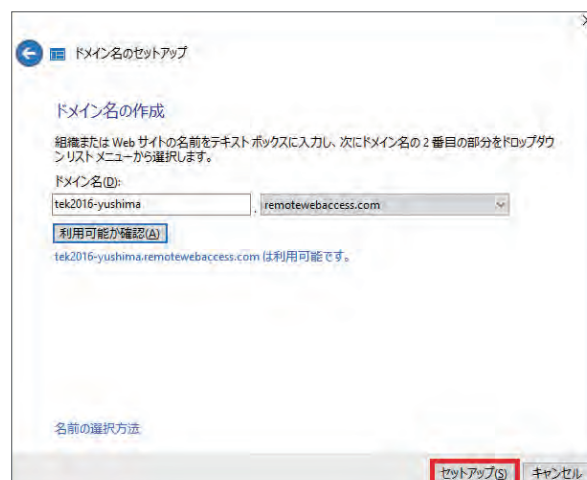
7. プライバシーに関する 声明および契約書

「プライバシーに関する声明および契約書」画面が表示されます。[承諾]をクリックします。



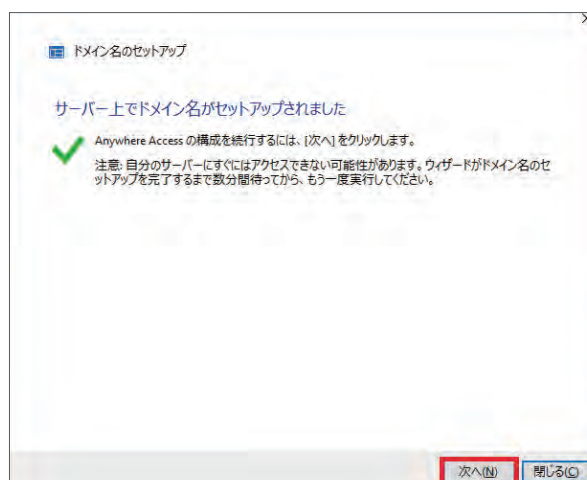
8. ドメイン名を作成

「ドメイン名を作成」画面が表示されます。任意のドメイン名を入力します。[利用可能か確認]をクリックして、ドメイン名がすでに他で取得済みでないかどうかを確認することができます。[セットアップ]をクリックします。



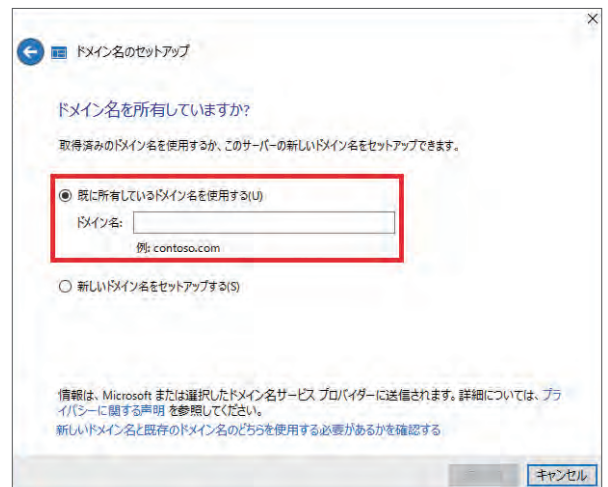
9. ドメイン名の取得完了

ドメイン名が取得され、「サーバー上でドメイン名がセットアップされました」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。P78 STEP3に進んでください。



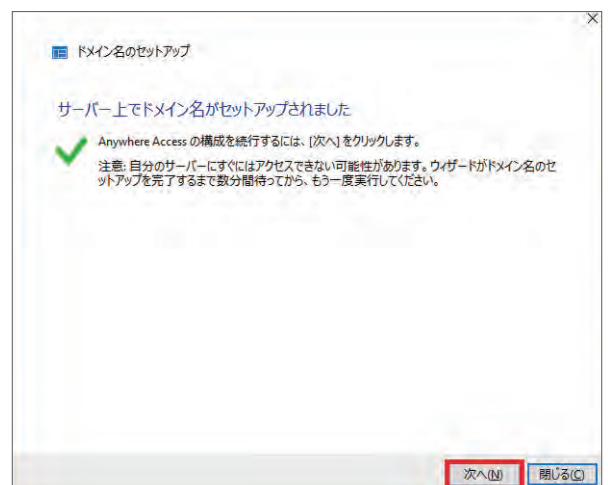
10. ドメイン名を所有していますか？

「ドメイン名を所有していますか？」画面が表示されます。既にドメイン名を所有している場合は、[既に所有しているドメイン名を使用する]を選択し、ドメイン名を入力して[次へ]をクリックします。



11. サーバー上でドメイン名がセットアップされました

「サーバー上でドメイン名がセットアップされました」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。

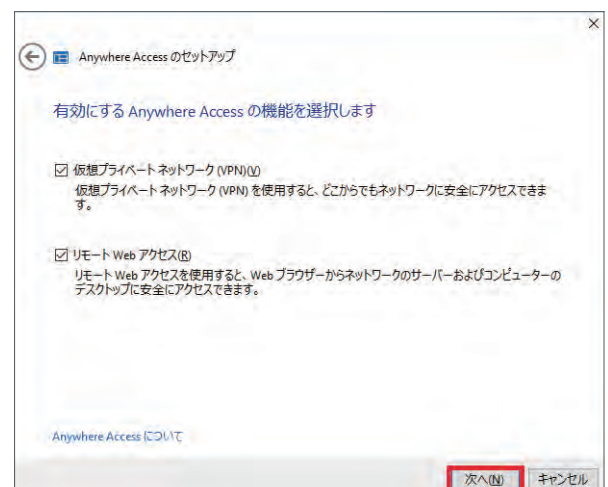


STEP 3

Anywhere Access(リモートwebアクセス)のセットアップをします。

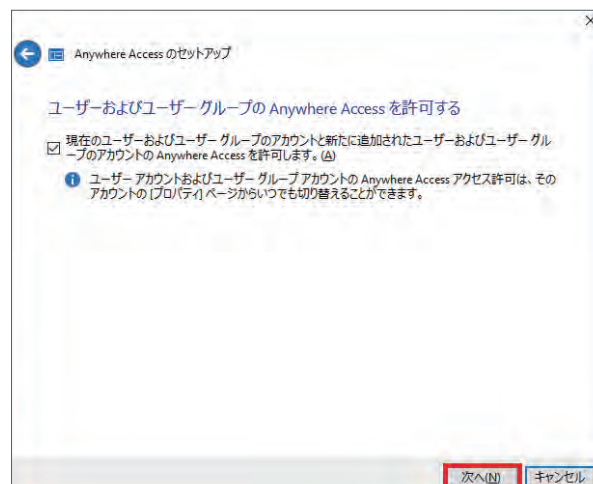
1. 有効にする Anywhere Accessの機能を選択します

「有効にするAnywhere Access 機能を選択します」画面が表示されます。機能を選択後、[次へ]をクリックします。



2. Anywhere Access を許可

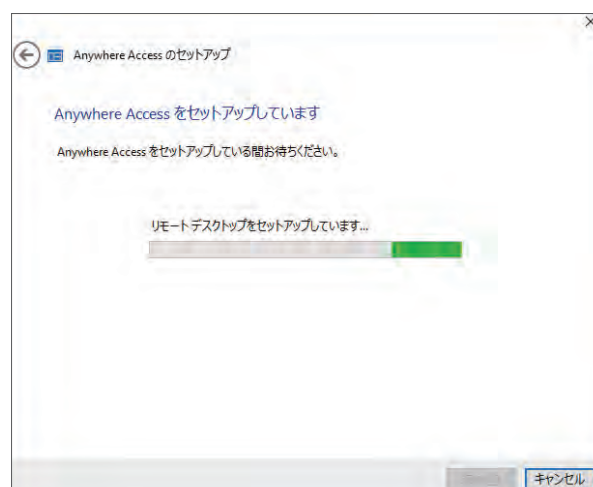
「ユーザーおよびユーザーグループの Anywhere Access を許可する」画面が表示されます。許可する場合には、チェックボックスを選択し、[次へ]をクリックします。



3. Anywhere Access をセットアップしています

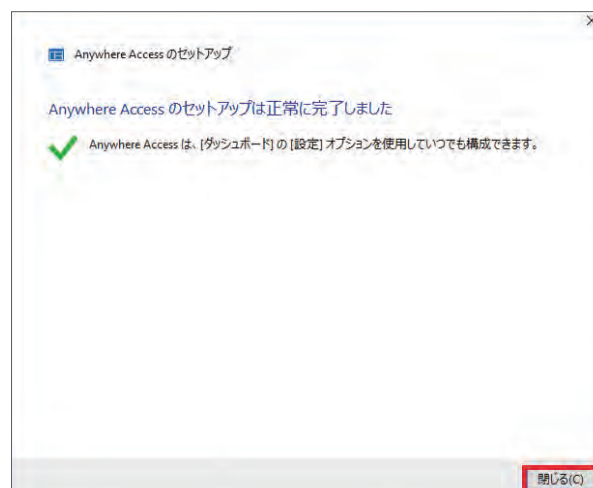
「Anywhere Access をセットアップしています」画面が表示されますので、そのまましばらく待ちます。

※リモートデスクをセットアップ/Webサイトをセットアップ/VPNをセットアップ/確認しています/などが繰り返し行われますので、そのまま待ちます



4. Anywhere Access の セットアップ完了

「Anywhere Access のセットアップが完了しました」画面が表示されます。セットアップが完了しましたので、[閉じる]をクリックします。



STEP 4

ユーザーのAnywhere Accessのアクセス許可・拒否を設定します。

1. ダッシュボードを開く

ダッシュボードを起動後、「ユーザー」をクリックします。



2. 設定するユーザーを選択

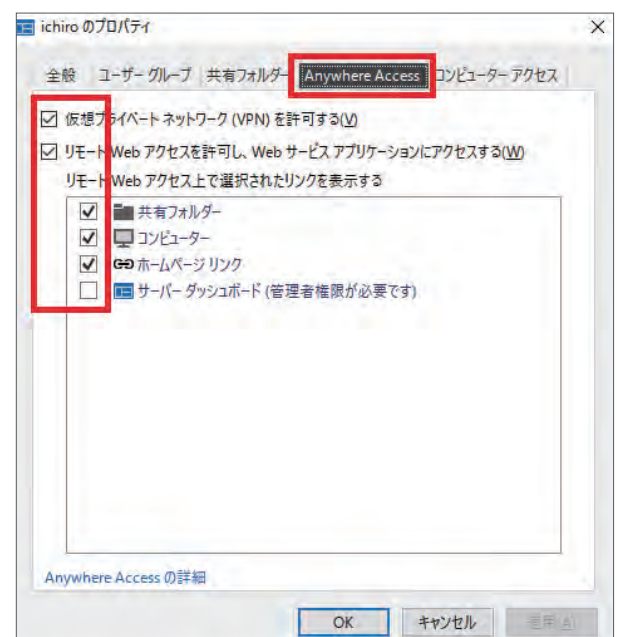
リスト内のユーザーを選択後(本例では「東京一郎」)、右クリック操作を行います。表示されるメニューの中の「アカウントプロパティの表示」をクリックします。



3. アクセスを許可するフォルダーを確認

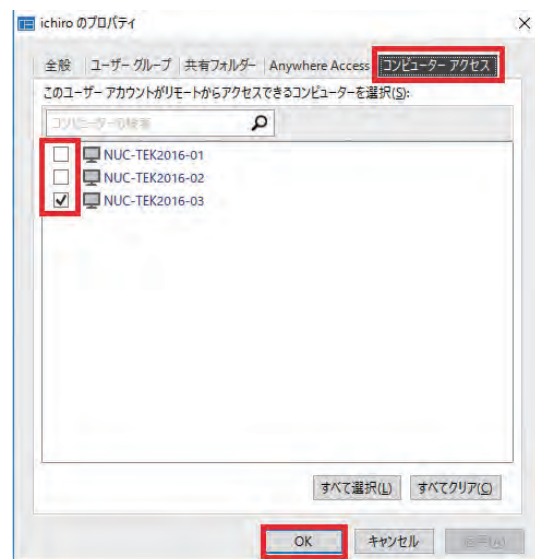
Anywhere Accessタブをクリックするとアクセス可能なフォルダーが表示されます。

このユーザーにアクセスを許可するフォルダーにチェックを入れます。



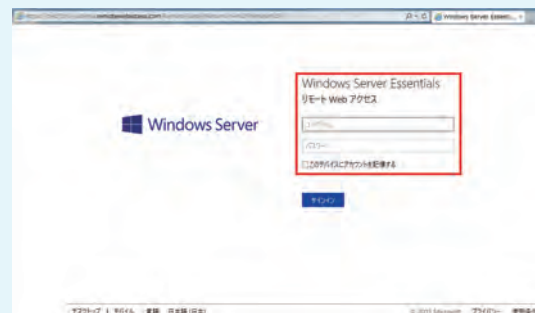
4. リモートアクセスするPCを確認

コンピューターアクセstabをクリックすると、リモートアクセスできるコンピューターが表示されます。このユーザーにリモートアクセスを許可するコンピューターにチェックを入れ、[OK]をクリックします。



インターネットに接続したPCからアクセスするには

ユーザーはWebブラウザから「http://<ドメイン名>/remote/」で、Anywhere Access (リモート Web アクセス)のログオンページにアクセスします。ユーザー名とパスワードを入力後、[サインイン]をクリックしてログオンします。



※ドメイン名は、Step2 (p23～)で取得したドメイン名です。

ログオン後、ユーザーの権限に応じて、左の画像で示す3種類のページにアクセスすることができます。



ホームページ



共有フォルダーページ



デバイスページ

Anywhere Accessのエラー表示がでてしまう

マニュアル通りにセットアップを行っても、「ルーターセットアップでエラーが発生する。しかし、外部よりアクセスするとサーバーに接続できる」という問題が発生する場合があります。

ルーターセットアップで表示されるエラー

インターネット接続は利用できません

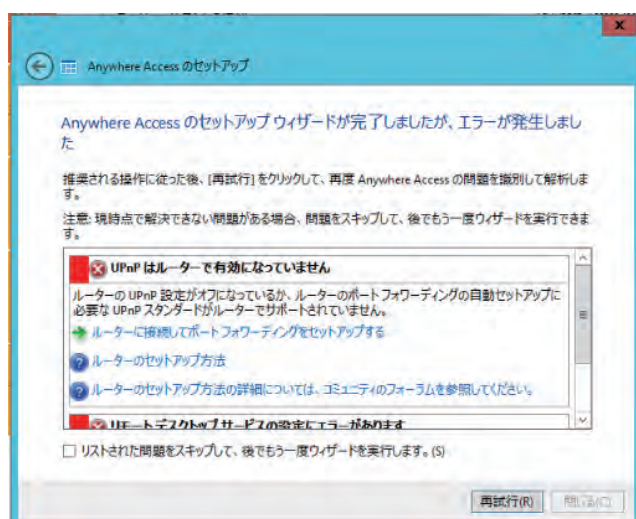
サーバーへのAnywhere Access はブロックされています

ネットワーク上に複数の「ルーター」が存在する可能性があります

UpnPはルーターで有効になっていません

ポートフォワーディングはルーターで正しく構成されていません

リモートデスクトップサービスの設定にエラーがあります 等



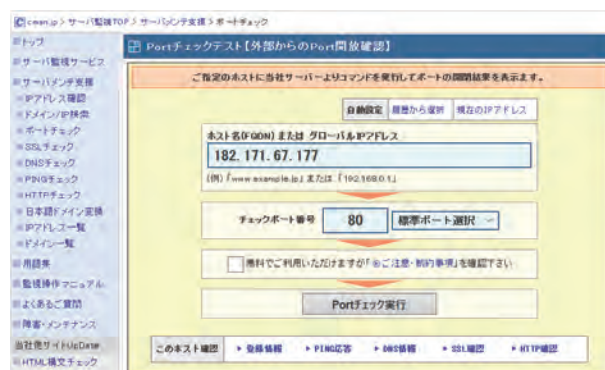
「Anywhere Accessのエラー表示がでてしまう」対策

Anywhere Access の設定画面でエラーが残っていても、
接続できている例が確認されています。

A. ポート開放の確認

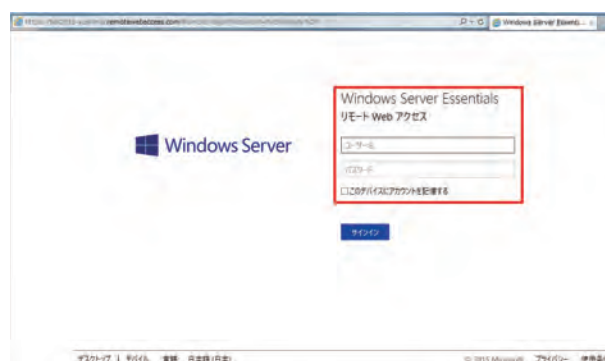
外部からポートを開いているかどうか
については、こちらから確認できます。

<https://www.cman.jp/network/-support/port.html>



B. リモート用のWebにアクセス

ルーターのWWWポート(80)とhttps
(443)のポートが開いていれば、リモ
ート用のWebに接続できますので、ポ
ート及びフィルタリング開放をしたあ
とに、外部よりポートが開放されてい
ることを確認して、リモート用のWebに
接続確認を行ってください。



必ずお読みください

NOWingServer 先出しセンドバック保守(標準・オプション)サービス利用規約

第1章NOWingServer先出しセンドバック保守(標準・オプション)サービスとは

NOWingServer先出しセンドバック保守(標準・オプション)サービスは、テックウインド株式会社(以下「弊社」といいます)取扱いNOWingServer製品用に用意された保守サービスです。本規約に定める条件に従って本保守サービス(以下「本サービス」といいます)をご利用いただくことにより、本規約に定める本サービスをお受けいただくことができます。

1.対象機器

- 1.1本サービスの適用範囲は、第2章に記載された登録手続きに基づいて弊社に登録され、かつ日本国内に設置されたNOWingServer本体1台です。(以下、「対象機器」といいます。)
- 1.2本サービスの対象機器は、弊社に保守登録を行ったNOWingServer製品に限られます。なお、OSについて、弊社出荷時のエディションから変更されている場合、当該NOWingServer製品は本サービスの対象外となります。
- 1.3テックウインド製品保証規定において無償修理の対象となっていない故障は本サービスの対象外といたします。
- 1.4本サービスで提供する対象機器の交換または修理までとし、対象機器以外の設置、設定については本サービスの対象外と致します。
- 1.5お客様のネットワーク環境における異常または不具合における原因の切り分けについては、お客様が行うものとします。
- 1.6登録完了後に対象機器を変更することはできません。

2.受付時間

本サービスの受付時間は、土日祝日および弊社指定休業日を除く月曜日～金曜日 9:30～12:00、13:00～16:30です。

3.対応時間

障害対応依頼を受け付け(障害対応依頼を弊社が受付けた日を以下「受付日」といいます)、弊社が代替機との交換が必要と判断した場合、速やかに代替機を発送致します。なお、ハードディスクの故障と判断され15:00までに受付した場合、受付日当日の出荷を致します。

4.本サービスの提供期間

本サービスの提供期間は、お客様の登録申請日にかかわらず、登録申請いただいた対象機器のご購入日から2年間とします。

第2章登録申請

本サービスをご利用いただくには、お客様の情報を弊社に登録していただくことが必要となります。登録申請は、対象機器ご購入日から30日以内に弊社ホームページにて行なってください。登録申請後、弊社は登録承認ののち、登録完了のご案内を行い、本サービスを開始するものとします。なお、ホームページ上からの登録が完了しなければ本サービスは開始されません。また、以下のような場合は本サービスへの登録ができませんのでご注意ください。

- (1)第1章第1条で定める対象機器に該当しない製品 (2)すでに保守契約が締結済みの製品に関して、弊社の提供する異種の保守サービスに変更する場合

<登録申請の手順>

ホームページ上から申請を行う場合

- (1)本規約をお読みいただき、その内容に同意できることをご確認ください。
- (2)Web上の保守登録ページにアクセスし、画面の内容に従って必要な情報を登録してください。

第3章本サービスの内容および条件

弊社は、お客様が弊社に登録申請し、弊社にて登録完了したお客様の対象機器に対して、以下に定める内容および条件で本サービスを提供するものとします。万一、本サービスをご購入いただいたお客様と本サービスの対象となる機器の所有者が異なる場合、お客様の費用と責任において、本規約の内容につき対象機器所有者の承認を得ること、および弊社が本サービスを行うことができるよう必要な措置を行うことを条件として、弊社は本サービスを提供するものとします。お客様が本サービスの対象となる機器を譲渡された場合、本サービスは継承されないものとします。

1.本サービスの内容

- 1.1 障害申請の受付 お客様から対象機器の障害に関する連絡をいただき、対象機器の故障により機器の交換が必要と弊社が判断した場合、弊社は「代替機」(対象機器と同一機種で正常動作を確認済の製品)を発送致します。「代替機」と交換となるため対象機器のシリアル番号は変更となります。なお「代替機」がご用意できない場合、後継機種を提供する場合がございます。
- 1.2 障害原因の切り分けおよび特定 障害原因の切り分けについてはお客様に行ってくださいようお願い致します。
- 1.3 障害が発生した対象機器の回収 代替機が対象機器の設置場所に到着後、交換および設置作業はお客様に行っていただき、障害の発生した対象機器(以下、「障害機」といいます)については、代替機の設置作業後遅滞なく、お客様が弊社宛に返送するものとします。なお、弊社がお客様に対し代替機発送した日から1ヶ月(以下、「返却期間」といいます)を経過してもなお、障害機をご返送いただけない場合には、代替機の通常販売代金をご請求させていただきます。また、本サービスの提供期間中といえども、返送期間経過後、障害機をご返却いただけるまでの間においては、本サービスの提供は停止させていただきます。この場合、既にお支払いいただいている代金の返却は一切できませんのであらかじめご了承ください。

2.本サービスの範囲

本サービスの適用範囲は、第1章第1条に定める対象機器のハードウェアに関するサービスのみです。対象機器に登録されたデータの復旧、およびOS、アプリケーションソフトウェアに関する障害は本サービスの対象外です。

3.除外作業

次の各号に定める作業については、本サービスに含まれないものとします。

- (1)対象機器の移設および撤去に関する作業および立会い
- (2)お客様の要求による対象機器の改造、清掃、点検
- (3)フレーム、カバーなどの部品交換、消耗品の供給
- (4)弊社製品以外に起因して生じた障害の修理作業および立会い
- (5)直接的または間接的に火災、水害などの天災地変、その他弊社の責に帰することのできない事由により対象機器に生じた故障の修理
- (6)お客様または第三者の不適切な設置、使用、取扱いにより対象機器に生じた故障の修理
- (7)弊社または弊社が承諾した以外の者が作成したプログラム、ハードウェア等に起因する対象機器の事故の調査および故障の修理
- (8)弊社が修理のために引き取った対象機器内に保存されたデータの保護および復旧
- (9)ソフトウェアに起因する対象機器の事故の調査および故障の修理
- (10)お客様のデータのバックアップ、リストアに関する作業
- (11)対象機器が接続されているネットワークの復旧作業
- (12)対象機器ファームウェアのバージョン変更、設定変更
- (13)弊社の規定品以外の保守部材の使用、または保守部材などの保管不備により生じた対象機器の故障の修理
- (14)前各号に定めるほか、本章2条の「本サービスの範囲」に含まれない作業

4.第三者委託

弊社は本サービスの実施を、弊社の必要に応じて、自己の責任と費用で本サービスの提供にかかる作業の全部または一部を第三者に委託することができるものとします。

5.お客様が負担する費用

本サービスに要する費用のうち、代替機の設置と設定、および障害機の返送にかかる費用はお客様の負担とします。

6.瑕疵担保

6.1 弊社または本章第4条に定める弊社が指定する第三者が実施した本サービスに、その実施の時から1ヶ月以内に瑕疵が発見された場合、それが弊社の責に帰すべき事由と認められる場合については、弊社は弊社の費用負担において当瑕疵を保障致します。

6.2 対象機器に記録されているデータの管理保全については、お客様の責任において行うものとします。本サービスの実施に伴い、弊社の故意または重大な過失によるものを除き、弊社は障害の程度に関わらず、記録されているデータの消失に対しては、一切の責任を負いません。

6.3 障害機から交換機へのデータ移行作業は、お客様に行っていただきます。

7.有効期間

本サービスの有効期間は、通常保障(テックウインド製品保証)による保証期間を含め、対象機器ご購入日から2年間とします。対象機器をご購入日から起算して2年間以上使用されている場合、原則として本サービスは終了するものとします。ただし、追加延長オプションを購入されたお客様は、購入された期間に応じて3～5年をもって、本サービスは終了するものとします。この場合、既にお支払いいただいている代金はお返し致しません。

8.障害機の所有権

第3章第1項第3号に定める障害機の所有権は、代替機の引渡し完了と同時に弊社に帰属するものとします。

9.設置場所の変更

お客様は、お客様登録カードに記載した対象機器の設置場所を変更する場合、変更後の設置場所と変更日を、弊社窓口に対し、変更を行う日の14日以上前に書面により連絡するものとします。

10.設置場所の整備

お客様は、適切な設置環境に対象機器を設置し、常に設置環境を整備、維持するものとします。

11.秘密保持

お客様および弊社は、本サービスの提供に関して知り得た相手方の業務上その他の情報であって、相手方から秘密であると明確に指定されたもの(以下、「秘密情報」といいます)については、本サービスの提供期間中のみならずその終了後も1年間は第三者(本章第4条に基づき弊社が委託する第三者を除きます)に開示または漏洩してはならないものとします。ただし、次の各号の一に該当する情報については、秘密情報として扱わないものとします。

- (1)開示の時に、既に公知または公用となっている情報
- (2)開示の時に、既に開示を受ける当事者が保有しており、開示を受ける側がそれを証明できる情報
- (3)開示の時に、開示を受けた当事者の責によらず公知または公用となった情報
- (4)開示を受けた当事者が、第三者から秘密保持義務を負うことなく適法に入手した情報
- (5)秘密情報を使用することなく、開示を受けた当事者が独自に開発した情報
- (6)法令により、開示を受けた当事者が開示を要求された情報

12.個人情報

弊社は、お客様より取得した個人情報に関して、弊社で定める「個人情報保護方針」に基づき、個人情報保護に最大限の注意を持って取り扱うものとし、適切な安全管理を行うものとします。

13.本サービス提供の中止または終了

お客様または弊社が、お客様が次の各号の一に該当する場合には、何らかの催告を要せず本サービスの全部または一部の提供を直ちに中止または終了することができるものとする。本サービスの全部または一部の提供を中止または終了した場合には、お支払いいただいた代金は一切返却致しません。

- (1)本規約に記載の条件に違反し、相当の期間を定めて書面による催告が行われたにもかかわらず、当該違反が是正されないとき
- (2)差押、仮差押、仮処分、競売の申し立てもしくは租税滞納処分その他公権力の処分を受け、または破産、会社更生もしくは民事再生手続きその他これらに類する手続きの申し立てがなされたとき
- (3)営業の廃止または解散の決議を行ったとき
- (4)その他財産状態が悪化したとき、またはその恐れがあると認められる相当の理由あるとき

14.途中解約

お客様が本サービスの途中解約を希望する場合、弊社保守契約窓口宛に、解約希望の旨を書面により連絡するものとします。なお、本サービスが終了した場合には、終了の理由の如何にかかわらず、お支払いいただいた代金は一切返却致しません。

15.損害賠償

15.1 弊社およびお客様は、本規約に基づく自らの債務を履行しないことにより相手方に損害を与えた場合には、本サービスの有効期間内であるか否かを問わず、当該損害を賠償する責を負うものとします。ただし、弊社の負担する損害賠償の総額は、本サービスの購入代金として弊社がお客様から受領した金額を超えないものとします。

15.2 本サービスに関連して、お客様が弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合には、現実が発生した直接かつ通常の損害に限り、その損害を弊社に請求できるものとします。ただし、弊社の負担する損害賠償の総額は、本サービスの購入代金として弊社がお客様から受領した金額を超えないものとします。

15.3 弊社は、弊社の故意または重大な過失に基づく事由により生じた損害を除き、いかなる場合であっても、弊社の責に帰することのできない事由から生じた損害、予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益、第三者からの賠償請求に基づいてお客様に生じた損害、データの破損・滅失に起因する全ての損害について、その責を負わないものとします。

16.協議

本規約の内容、または本規約に定めのない事項に関して疑義が生じた場合には、当事者双方で誠意を持って協議するものとします。

17.本規約の変更

1 弊社は、お客様へ事前に予告または通知することなく、本規約を任意に変更することができるものとし、変更後の本規約に関する事項を弊社Webサイトに掲載致します。

2 弊社は、本規約に関する重大な変更を行う場合、前項による通知と併せてお客様に直接通知することが出来るものとします。本重大な変更について異議があるお客様は、Webサイト掲載日から1か月以内に限り、弊社Webサイトのお問い合わせから異議を申し立てることが出来ます。その場合、弊社はその異議に対し、誠意をもって対応をしなければならない。

18.合意管轄

本規約または本サービスの内容に関連して、弊社およびお客様間において紛争が生じた場合には、弊社の本社所有地を管轄する裁判所を東京地方裁判所とします。

(付則) 本規約は、2014年2月1日より適用します。
本規約は、2019年12月23日に改定します。

NOWingServer オンサイト保守(オプション)サービス利用規約

第1章 NOWingServerオンサイト保守(オプション)サービスとは

NOWingServerオンサイト保守(オプション)サービスは、テックウインド株式会社(以下「弊社」といいます)取扱いNOWingServer製品用に用意された保守サービスです。本規約に定める条件に従って本保守サービス(以下「本サービス」といいます)をご利用いただくことにより、本規約に定める本サービスをお受けいただくことができます。

1.対象機器

- 1.1本サービスの適用範囲は、第2章に記載された登録手続きに基づいて弊社に登録され、かつ日本国内に設置されたNOWingServer本体1台です。(以下、「対象機器」といいます。)
- 1.2本サービスの対象機器は、弊社に保守登録を行ったNOWingServer製品に限られます。なお、OSについて、弊社出荷時のエディションから変更されている場合、当該NOWingServer製品は本サービスの対象外となります。
- 1.3テックウインド製品保証規定において無償修理の対象となっていない故障は、本サービスの対象外といたします。
- 1.4本サービスで提供するものは対象機器の交換または修理までとし、対象機器以外の設置、設定については本サービスの対象外と致します。
- 1.5お客様のネットワーク環境における異常または不具合における原因の切り分けについては、お客様が行うものとします。
- 1.6登録完了後に対象機器を変更することはできません。

2.受付時間

本サービスの受付時間は、土日祝日および弊社指定休業日を除く月曜日～金曜日 9:30～12:00、13:00～16:30です。

3.対応時間

訪問日はお客様とご調整の上、別途訪問日を設定させていただきます。

4.本サービスの提供期間

本サービスの提供期間は、オプションをご購入されたお客様のみ、購入された期間に応じて提供期間を1～5年にサービス致します。

第2章 登録申請

本サービスをご利用いただくには、お客様の情報を弊社に登録していただくことが必要となります。登録申請は、対象機器ご購入日から30日以内に弊社ホームページにて行なってください。登録申請後、弊社は登録承認ののち、登録完了のご案内を行い、本サービスを開始するものとします。なお、ホームページ上からの登録が完了しなければ本サービスは開始されません。また、以下のような場合は本サービスへの登録ができませんのでご注意ください。

- (1)第1章第1条で定める対象機器に該当しない製品
- (2)すでに保守契約が締結済みの製品に関して、弊社の提供する異種の保守サービスに変更する場合

<登録申請の手順>

ホームページ上から申請を行う場合

- (1)本規約をお読みいただき、その内容に同意できることをご確認ください。
- (2)Web上の保守登録ページにアクセスし、画面の内容に従って必要な情報を登録してください。

第3章 本サービスの内容および条件

弊社は、お客様が弊社に登録申請し、弊社にて登録完了したお客様の対象機器に対して、以下に定める内容および条件で本サービスを提供するものとします。万一、本サービスをご購入いただいたお客様と本サービスの対象となる機器の所有者が異なる場合、お客様の費用と責任において、本規約の内容につき対象機器所有者の承認を得ること、および弊社が本サービスを行うことができるよう必要な措置を行うことを条件として、弊社は本サービスを提供するものとします。お客様が本サービスの対象となる機器を譲渡された場合、本サービスは継承されません。

1.本サービスの内容

- 1.1 障害申請の受付 お客様から対象機器の障害に関する連絡をいただき、対象機器の故障により機器の交換が必要と弊社が判断した場合、弊社作業員が設置場所に訪問し、障害品の修理、交換作業を行います。交換の場合、同一機種がご用意できない場合、後継機種との交換となる場合があります。
- 1.2サービス提供地域 対象地域は、離島を除く全国になります。
- 1.3 その他
 - ・故障部位が特定できる場合は、故障部位のみを交換させていただきます。
 - ・故障で交換した部材は全て作業員が持ち帰ります。
 - ・対象機器の交換によりシリアル番号が変わる場合がございますが、保守期間中は交換品に対しても同様の保守サービスが適用されます。
 - ・対象機器の交換品は再生品(修理完了品)の場合があります。
 - ・ハードディスク故障については、先出しセンドバック保守(標準)サービスの対応になります。なお、ハードディスクの故障と判断され15:00までに受付した場合、受付日当日の出荷を致します。

2.本サービスの範囲

本サービスの適用範囲は、第1章第1条に定める対象機器のハードウェアに関するサービスのみです。対象機器に記録されたデータの復旧、およびOS、アプリケーションソフトウェアに関する障害は本サービスの対象外です。

3.除外作業

次の各号に定める作業については、本サービスに含まれないものとします。

- (1)対象機器の移設および撤去に関する作業および立会い
- (2)お客様の要求による対象機器の改造、清掃、点検
- (3)フレーム、カバーなどの部品交換、消耗品の供給
- (4)弊社製品以外に起因して生じた障害の修理作業および立会い
- (5)直接的または間接的に火災、水害などの天災地変、その他弊社の責に帰することのできない事由により対象機器に生じた故障の修理
- (6)お客様または第三者の不適切な設置、使用、取扱いにより対象機器に生じた故障の修理
- (7)弊社または弊社が承諾した以外の者が作成したプログラム、ハードウェア等に起因する対象機器の事故の調査および故障の修理
- (8)弊社が修理のために引き取った対象機器内に保存されたデータの保護および復旧
- (9)ソフトウェアに起因する対象機器の事故の調査および故障の修理
- (10)お客様のデータのバックアップ、リストアに関する作業
- (11)対象機器が接続されているネットワークの復旧作業
- (12)対象機器ファームウェアのバージョン変更、設定変更
- (13)弊社の規定品以外の保守部材の使用、または保守部材などの保管不備により生じた対象機器の故障の修理
- (14)前各号に定めるほか、本章2条の「本サービスの範囲」に含まれない作業

4.第三者委託

弊社は本サービスの実施を、弊社の必要に応じて、自己の責任と費用で本サービスの提供にかかる作業の全部または一部を第三者に委託することができるものとします。

5.瑕疵担保

5.1 弊社または本章第4条に定める弊社が指定する第三者が実施した本サービスに、その実施の時から1ヶ月以内に瑕疵が発見された場合、それが弊社の責に帰すべき事由と認められる場合については、弊社は弊社の費用負担において当瑕疵を保障致します。

5.2 対象機器に記録されているデータの管理保全については、お客様の責任において行うものとします。本サービスの実施に伴い、弊社の故意または重大な過失によるものを除き、弊社は障害の程度に関わらず、記録されているデータの消失に対しては、一切の責任を負いません。

5.3 障害機から交換機へのデータ移行作業は、お客様にて行っていただきます。

6.有効期間

本サービスの有効期間は、オプションを購入されたお客様のみ、購入された期間に応じて対象機器をご購入日から起算から1～5年をもって、本サービスは終了するものとします。この場合、既にお支払いいただいている代金はお返し致しません。

7.障害機の所有権

第3章第1項第3号に定める障害機の所有権は、代替機の引渡し完了と同時に弊社に帰属するものとします。

8.設置場所の変更

お客様は、お客様登録カードに記載した対象機器の設置場所を変更する場合、変更後の設置場所と変更日を、弊社窓口に対し、変更を行う日の14日以上前に書面により連絡するものとします。

9.設置場所の整備

お客様は、適切な設置環境に対象機器を設置し、常に設置環境を整備、維持するものとします。

10.秘密保持

お客様および弊社は、本サービスの提供に関して知り得た相手方の業務上その他の情報であって、相手方から秘密であると明確に指定されたもの(以下、「秘密情報」といいます)については、本サービスの提供期間中のみならずその終了後も1年間は第三者(本章第4条に基づき弊社が委託する第三者を除きます)に開示または漏洩してはならないものとします。ただし、次の各号の一に該当する情報については、秘密情報として扱わないものとします。

(1)開示の時に、既に公知または公用となっている情報

(2)開示の時に、既に開示を受ける当事者が保有しており、開示を受ける側がそれを証明できる情報

(3)開示の時に、開示を受けた当事者の責によらず公知または公用となった情報

(4)開示を受けた当事者が、第三者から秘密保持義務を負うことなく適法に入手した情報

(5)秘密情報を使用することなく、開示を受けた当事者が独自に開発した情報

(6)法令により、開示を受けた当事者が開示を要求された情報

11.個人情報

弊社は、お客様より取得した個人情報に関して、弊社で定める「個人情報保護方針」に基づき、個人情報保護に最大限の注意を持って取り扱うものとし、適切な安全管理を行うものとします。

12.本サービス提供の中止または終了

お客様または弊社が、お客様が次の各号の一に該当する場合には、何らかの催告を要せず本サービスの全部または一部の提供を直ちに中止または終了することができるものとします。本サービスの全部または一部の提供を中止または終了した場合には、お支払いいただいた代金は一切返却致しません。

(1)本規約に記載の条件に違反し、相当の期間を定めて書面による催告が行われたにもかかわらず、当該違反が是正されないとき

(2)差押、仮差押、仮処分、競売の申し立てもしくは租税滞納処分その他公権力の処分を受け、または破産、会社更生もしくは民事再生手続きその他これらに類する手続きの申し立てがなされたとき

(3)営業の廃止または解散の決議を行ったとき

(4)その他財産状態が悪化したとき、またはその恐れがあると認められる相当の理由あるとき

13.途中解約

お客様が本サービスの途中解約を希望する場合、弊社保守契約窓口に、解約希望の旨を書面により連絡するものとします。なお、本サービスが終了した場合には、終了の理由の如何にかかわらず、お支払いいただいた代金は一切返却致しません。

14.損害賠償

14.1 弊社およびお客様は、本規約に基づく自らの債務を履行しないことにより相手方に損害を与えた場合には、本サービスの有効期間内であるか否かを問わず、当該損害を賠償する責を負うものとします。ただし、弊社の負担する損害賠償の総額は、本サービスの購入代金として弊社がお客様から受領した金額を超えないものとします。

14.2 本サービスに関連して、お客様が弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合には、現実には発生した直接かつ通常の損害に限り、その損害を弊社に請求できるものとします。ただし、弊社の負担する損害賠償の総額は、本サービスの購入代金として弊社がお客様から受領した金額を超えないものとします。

14.3 弊社は、弊社の故意または重大な過失に基づく事由により生じた損害を除き、いかなる場合であっても、弊社の責に帰することのできない事由から生じた損害、予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益、第三者からの賠償請求に基づいてお客様に生じた損害、データの破損・滅失に起因する全ての損害について、その責を負わないものとします。

15.協議

本規約の内容、または本規約に定めのない事項に関して疑義が生じた場合には、当事者双方で誠意を持って協議するものとします。

16.本規約の変更

1 弊社は、お客様へ事前に予告または通知することなく、本規約を任意に変更することができるものとし、変更後の本規約に関する事項を弊社Webサイトに掲載致します。

2 弊社は、本規約に関する重大な変更を行う場合、前項による通知と併せてお客様に直接通知することが出来るものとします。本重大な変更について異議があるお客様は、Webサイト掲載日から1か月以内に限り、弊社Webサイトのお問い合わせから異議を申し立てることが出来ます。その場合、弊社はその異議に対し、誠意をもって対応をします。

17.合意管轄

本規約または本サービスの内容に関連して、弊社およびお客様間において紛争が生じた場合には、弊社の本社所有地を管轄する裁判所を東京地方裁判所とします。

(付則) 本規約は、2014年2月1日より適用します。

本規約は、2019年12月23日に改定します。



NWS171001

このマニュアルの記載内容は 2019 年 12 月 23 日現在のものです。製品の外観、仕様等は予告なく変更される場合がございます。